

IV 船橋市のまちづくりにおける課題の整理

1. 市民生活・産業構造・都市構造における課題（項目）

1. 1 都市構造における課題

◆都市イメージという視点から

○都市イメージの確立

⇒東京近郊のベッドタウンであり、船橋ならではの特色に欠ける。都市イメージが希薄。どのような方向性とするのか。（例えば、環境居住都市）

○文化的なイメージの発信

⇒文化的で成熟した落ち着いた都市というイメージの希薄さ。音楽のまち・サッカーのまちという意見もあるが、全市的な取り組みとしては見えてこない。

◆土地利用という視点から

○南部・北部の開発と保全のバランス

⇒地域特性が異なることを肯定する見方がある一方で、南部の居住環境の悪さ、北部の生活利便性の低さを指摘する意見もある。

○中部の市街化調整区域における方向性

⇒開発の基準を緩和したことが、土地利用の乱れを招いたとする意見もある。

◆交通体系という視点から

○鉄道の利便性の活用

⇒東京への通勤の利便性、千葉市・成田市への交通利便性など、“便利さ”をさらに活かすことが考えられる。

○道路交通網のせい弱さの克服

⇒東西交通における渋滞発生、南北交通の弱さを多くの職員が指摘している。都市基盤としての道路整備も進んでおらず、改良率等低い水準にある。

◆市街地整備という視点から

○市街地における良好な都市環境の整備

⇒都市計画によるコントロールが十分に有効なものとは言えず、雑然とした街並みが形成されている。（浦和に対する大宮のように、それが活力を感じさせている場合もある）

⇒大型の集合住宅建設に対し、どのように考えるか（抑制に転じる等）。

○都市の環境向上・景観形成の必要性

⇒船橋駅直近の無秩序な街並み、屋外広告物、風俗店等については、厳しい意見が多い。

◆その他都市基盤整備という視点から

○公共下水道整備の推進

⇒対人口整備率は特に低い水準にある。今後の整備方針について、どのように考えるか。(あくまで推進か。例えば伊勢崎市は、進まぬ下水道整備から方向性をやや転じ、合併処理浄化槽の設置促進に力を注いでいる。)

◆自然環境の保全・活用という視点から

○緑の環境保全・活用

⇒北部における里山や農地は、東京近郊における貴重な自然として評価されている。一方、都市公園整備率が低い水準となっているが、このことをどう捉えるか。(学識関係者の指摘のように大規模な公園・緑の核を整備するのか、里山等を憩いの場とすることで補うのか)

○水辺の環境保全・活用

⇒海老川の整備と活用の必要性については肯定的な見方ができる一方で、海を活かしたまちづくりについては、どのように考えるか。(ベイエリアの都市としてあくまで推進か、職員アンケートにみられるように、成果が見えにくいものは見直すのか)

1. 2 産業構造における課題

◆住宅都市という視点から

○働く場の創出

⇒東京近郊のベッドタウンであり、就従比が相対的に低い。このことをどのように考えるか。(ベッドタウンとして割り切るか、産業の活性化・雇用の場の創出がどうしても必要と考えるか。)

⇒また、昨今の雇用情勢の急激な悪化を受け、独自の雇用対策をとる自治体が現れている中で、船橋市はどのように考えるか。(計画策定時に景気が回復しているとは考えにくい。今後、市民との対話の中で焦点になることもありうる。)

◆産業の振興という視点から

○農業・漁業の維持・振興

⇒比較対象都市のなかでは、相対的に農業への従事者が多い。近郊農業としての可能性はあるように思われるが、“市川の梨”のようなブランドイメージに欠ける。
⇒近隣では市川市行徳地区と同様、漁業が息づいていることが特色の一つではあるが、産業としての可能性はどうか。

IV 船橋市のまちづくりにおける課題の整理

○高い技術力を持つ工業の育成（誘致）

⇒生産性・付加価値率とも、船橋市の製造業は比較的健闘している。自動車業界の著しい不振により大きな影響を受ける都市が出始めているなか（豊田市・浜松市・太田市など）、既存工業に対する支援のあり方、また、新たな工業を誘致する場合の体制づくりなどについて、整理しておく必要があるのではないか。

⇒市のインキュベーション関連施策は、機能しているか。

○中心市街地の商業活性化

⇒郊外型の大規模小売店が健闘してきたが、これからは非常に厳しい状況に置かれるものと思われる。

⇒中心市街地活性化の計画は機能しているか。コアとなる人・組織は機能しているか。（官民とも）大学と連携しての取り組みは評価できるが、“ものを売ってお金を稼ぐ”ことにどのようにつなげるか。そこに行政が関与する必要性をどのように考えるか、整理する必要がある。

1. 3 市民生活における課題

◆市民生活の便利さという視点から

○市民生活の利便性の向上

⇒比較的地価が安くて住宅が得やすい船橋市ではあるが、都市基盤整備が追いついていないから地価が安いのだという指摘もある。

⇒また、学識経験者の指摘のように、行政の施策・サービスに“東京都並み”の水準を求める市民に対し、対応していかねばならない。

◆うるおい・やすらぎ・余暇という視点から

○文化活動の振興

⇒緑の環境に対する評価は比較的高いが、反面、文化的な情報発信や施設が弱いという指摘もある。

⇒“音楽のまち”“サッカーのまち”の実態と可能性をどのように考えるか。（高円寺の阿波踊り、荻窪のジャズのまちづくりのように、割りと短期間で特色ある活動が確立できるケースもある）

◆安心・安全という視点から

○医療・福祉の充実

⇒船橋市の市民は比較的若い層が多いが、持ち家比率の高さ等からみて、少子高齢化の波は避けられないものと思われる。医療、次世代育成支援、高齢者への支援の充実は必須である。

⇒この点につき、地域医療の崩壊が問題視されているなか、船橋市の医療体制に関する評価（職員アンケートより）は相対的に高かった。（ケアリハ病院のことが効いているのか）しかし医師数の水準は比較対象都市のなかでは高いものとは言えず、市民の実感を把握する必要がある。

⇒このほか、近ごろの社会経済情勢を受け、経済的に困窮した市民を支援するための費用（扶助費）の増大と、体制（人員）の充実も考えられる。

○防犯まちづくりの推進

⇒住宅都市であり、いわゆる“船橋都民”が多く（しかも社会移動により増加しているものと思われる）、かつ、ギャンブルのまち、繁華街を持つまちという地域性もあり、犯罪の増加が懸念されている。

○地域コミュニティの維持・（再生）

⇒地区によって特性が異なるが、高齢化や“新住民”の増加によって地域の自治組織が機能していないケースもある（コミュニティ関係者の指摘）。このような場合では、地域の自治機能のほか、相互扶助（互助）の機能なども低下していることが推察され、対応が求められる。

⇒NPO等市民活動団体も「結」の担い手として期待されるが（学識経験者の指摘）、実態と可能性については、見えない部分も多い。

1. 4 その他の課題

◆市民と行政の協働という視点から

○市民参画システムの確立

⇒愛郷心が希薄との指摘もあるなか、単に参加するだけでなく責任を持って“参画”してもらうためのシステムづくり、あるいはその前段としての機運の向上、きっかけづくりが求められる。

⇒「参加者が固定してしまい、市民活動が広がりをみせない」という傾向がある場合、無作為抽出によるプランニング・セル（プラーヌクスツェレ）により参加者の関心をより高め、市民参画への機運醸成に資していくことも有効と思われる。

◆船橋市の改革という視点から

○行財政改革のさらなる推進

⇒単にコストと人員をカットする行財政改革ではなく、職員の資質を高め、事業を効率的・効果的に実施（整理統合や重点化も含まれる）するための仕組みをつくることが求められている。この点につき、指標・数値目標による進行管理や、行政評価システムの導入などが有効と認識されている。

2. 庁内ヒアリング

2. 1 目的

- ・船橋市が有するポテンシャルや、都市構造上の問題・課題などの概要を把握し、次期基本計画検討の基礎資料とするため、主として都市計画セクションを対象としたヒアリングを実施した。

2. 2 対象とヒアリング項目

- ・次に掲げる項目等を基本とする。

1. 都市整備の長期的な観点からの方向性
 - (1) 市街地の規模と配置の考え方
 - (2) 軸と拠点整備の考え方
 - ・交通体系（南北の動線強化等）
 - ・環境軸（海老川・海浜部等）
 - ・中心商業地
2. 土地利用の方向性
 - (1) 住宅地
 - (2) 商業地
 - (3) 市街化調整区域等
 - ・河川（海老川等）
 - ・海浜（海を活かしたまちづくりの展望）
3. 大規模プロジェクトの現状と展望
 - ・海老川上流地区
 - ・山手地区
 - ・南船橋駅前周辺
4. 都市インフラのリニューアル

2. 3 ヒアリング結果等からみた土地利用の課題と方向性

①全市的視点からみた課題と方向性

○住居系地域における良好な環境の保全

- ・船橋市においては、概ね市中部から南部が中高層の住居地域、中部から北部が低層の住居地域となっている。
- ・船橋市のような交通利便性の高い首都近郊都市においては、近年、大規模な集合住宅の開発等による居住環境の悪化が懸念されているところであるが、県内初の“高さ制限”を導入し、居住環境の保全を打ち出したことは評価できる。（この点につき例として埼玉県下の動向をみると、和光市では“高さ制限”を打ち出しているものの、さいたま市 JR 浦和駅周辺等では、居住環境悪化への懸念に対するアピール力ある施策が打ち出されないままである。）

○商業系地域・工業系地域における土地利用の純化、あるいは土地利用転換の検討

- ・JR 船橋駅周辺の商業系地域（本町通り等）など、市内商業系地域・工業系地域において住居系への転換がみられている。
- ・このような現象は、大規模な住宅の開発等にもない全国的に顕在化してきたものであるが、その背景に中心市街地の衰退や工場の撤退等がある場合も多く、市街地活性化への対策として、積極的に住居系への転換が図られているケースもある。
- ・このように、商業系地域・工業系地域における住居系への転換は、一概に、本来の土地利用への純化を図るべきものとも考えられず、船橋市が転入者の増加によって人口増加の増加傾向を維持していることも考慮しつつ、いわゆる“土地利用のメリハリ”について、全市的な方針の立案が求められるところである。

○都市計画道路の整備促進による道路交通網の強化

- ・船橋市の弱みとして、道路網のせい弱さがあげられる。特に南北方向の骨格的道路の弱さが指摘されているところであり、都市計画道路等の整備促進による道路交通網の強化が求められる。

○市街化調整区域における良好な自然環境の保全

- ・自らが住まう地域の自然環境を重視する声の高まりとともに、首都近郊において良好な自然環境が維持されている都市の魅力が高まっているものと思われる。自然環境の豊かな都市は、既に居住する市民に憩いの場を豊富に提供できるだけでなく、第3者的視点からみても魅力的であり、居住地を決定する際の大切な要素となったり、例えば“快適環境都市”として市が自らをPRする際の重要なアピールポイントとなりうる。
- ・このため、特に海老川源流域やアンデルセン公園・船橋県民の森周辺における自然環境の保全等に、今後も力を注いでいくことが重要と考えられる。

IV 船橋市のまちづくりにおける課題の整理

○ “海を活かしたまちづくり” という理念の活用

- ・船橋市は、現行基本計画において「海を活かしたまちづくり」を掲げて取り組みを進めてきたところであるが、現在のところ、耳目を集める成果はあげられていないものと捉えられる。
- ・このことの背景には、社会経済情勢の変化等による取り組みの停滞などがあるものと推察されるが、後述する職員意識調査の問3・問4をみると、重要度・満足度ともマイナス評価となっており、そもそも、「海を活かしたまちづくり」が重要度の高い取り組みとして認知されていないとも想像できる。
- ・他方、市民の認識については市民意識調査等を実施して確認する必要があるが、人口50万人以上を有する首都近郊都市として、海に面していることは内陸の諸都市にはない大切な要素と思われる。
- ・このため今後は、行政評価システム等を活用して既往の取り組みを検証するとともに、市民の認識などとも摺り合わせを図りつつ、市としての方向性を打ち出していくことが望ましいと思われる。
- ・この際、第一段階として「海を活かしたまちづくり」を理念として活用することが考えられる。この場合は目に見えるハードの整備等より、まずは市民に海を意識してもらい意識の高揚を図っていくためにも、例えば海をモチーフとしたサインの整備など“海を感じさせる仕掛けづくり”に力を注いでいくことも考えられる。

②開発を計画している主な地域の課題と方向性

○海老川上流地区

- ・海老川上流地区は、東葉高速鉄道の新駅構想と相まって、交通利便性と自然環境が両立した良好な住宅地を創出できるポテンシャルを持つ地区と考えられる。
- ・地元では都市的土地利用を望む声もあがっているとのことだが、東葉高速鉄道新駅だけでなくJR船橋駅にも比較的近距離であることから、住居系を主としつつ、一部を商業（小売業）系の都市的土地利用に供することも考えられる。
- ・この場合、船橋市中央卸売市場がJR船橋駅周辺と海老川上流地区を分断する要素となることも懸念されるので、船橋市中央卸売市場の今後の位置づけも含め、全市的視点から検討する必要がある。
- ・なお、海老川上流地区をこれからの船橋市のあるべき姿を具現化したモデル的な地区として位置づけることも考えられ、その場合、豊かな自然環境を維持しつつ、住居系を主としながらも駅周辺を商業（小売業）系とすることによって、“住みやすく、便利なまち”としていくことが考えられる。

○山手地区

- ・山手地区は工業地域という位置づけであるが、現状では住居系への転換が起こりつつある。
- ・船橋市における近年の人口動態等を鑑み、住居系の土地利用とすることが第一に考えられるが、昨今の社会経済動向、市民の意向、さらには大方針としての市の人口政策（さらなる増加か・抑制か）を踏まえながら、慎重に検討していくことが求められる。
- ・市民に対し意向調査を実施した場合は、公園・病院・大学等が求められるものの上位となると想定されるが、周辺が住居系地域であること、近年の病院や大学をめぐる状況を考慮すると、選択肢としては公園（防災の拠点や、良好な居住環境を具現化するシンボリックな公園として、船橋市の問題解決やイメージアップにつながるものとする）も考えられると思われる。

○南船橋駅前周辺地区

- ・JR 南船橋駅の周辺は、ららぽーと・イケアといった大規模商業施設や、競馬場・オートレース場、大規模な集合住宅も立地しており、JR 船橋駅周辺や西船橋駅周辺とは趣を異にした、特色ある地域となっている。
- ・古くは千葉街道、近代以降は JR 総武線沿線に発展してきた船橋市にあって、海浜部の埋め立てという背景を持つ地域であること、かつ、JR 船橋駅周辺との動線が海老川河口部によって分断されているために、都市としての一体性や連続性が阻害されているとみることできる。
- ・また JR 南船橋駅周辺は、大規模商業施設等を多くの人々が利用するにもかかわらず、ある程度の時間落ち着いて滞留できる施設（公園や飲食店など）に乏しく、バス路線も限られて公共交通の利便性が低い地域となっている。
- ・このように、南船橋駅前周辺地区では、JR 船橋駅周辺地域など他の地区とのアクセシビリティ・回遊性と、大規模商業施設・競馬場・オートレース場以外の魅力を生み出していくことが課題と思われる。

3. 職員アンケート

1. 1 調査概要

①調査目的

本市の基本構想は、平成 32 年度を目標年次としているが、基本計画においては平成 23 年度に期間満了を迎える。

本調査は、次期基本計画策定にあたり、市職員の見線から見たまちづくりの諸課題を把握するとともに、現行基本計画の周知、次期基本計画策定への機運づくりの一環とすることを目的として実施した。

②調査対象

8 級以下の常勤職員 4,455 名（平成 20 年 10 月 1 日時点）

③調査期間

平成 20 年 10 月 10 日（金）から 10 月 31 日（金）まで

④調査手法

庁内 LAN を利用した配布・回収

（エクセルファイルによる提出を原則としたが、庁内 LAN 接続パソコンが配備されていない部署にあっては調査用紙による提出）

⑤回収結果

対象職員 : 4,455 名

回収数 : 606 通（有効回答数も同）

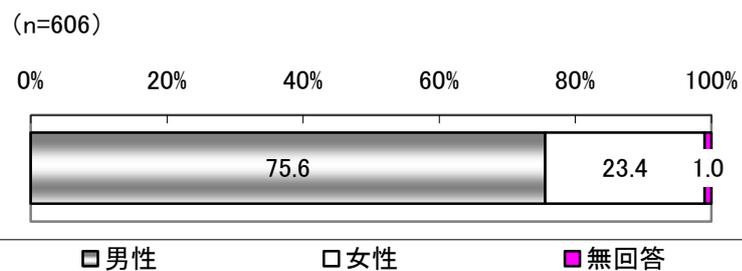
有効回答率 : 13.6%

1. 2 調査結果

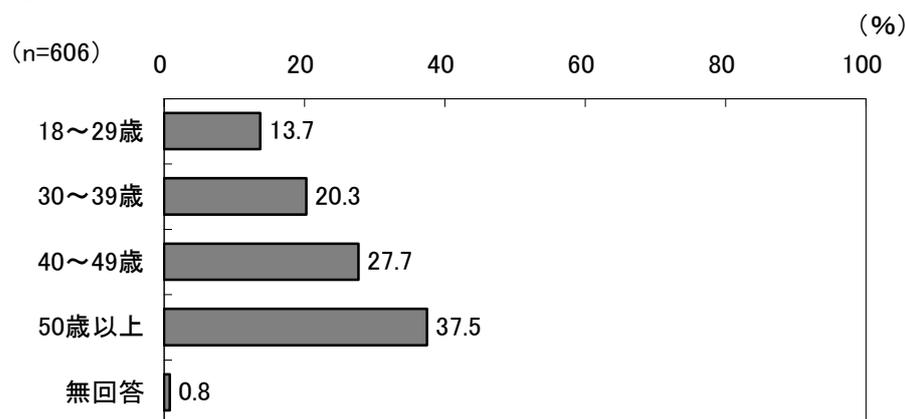
基本属性

最初に、あなたご自身のことについてお聞きします。
以下について、あてはまる番号を1つ選び、記入欄にご記入ください。

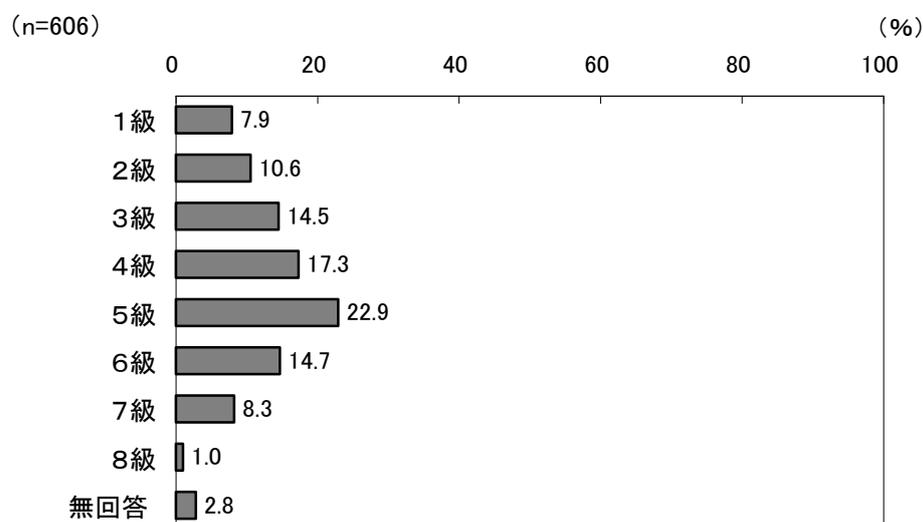
①性



②年齢

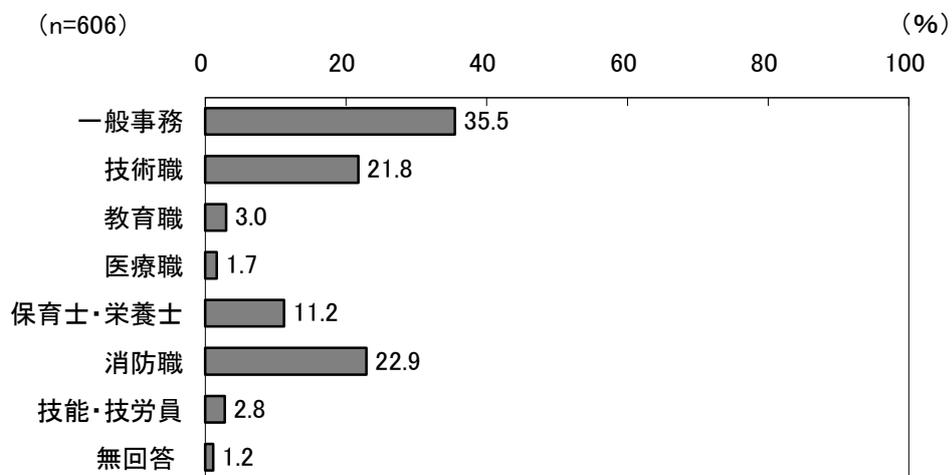


③職務の級



IV 船橋市のまちづくりにおける課題の整理

④ 職種

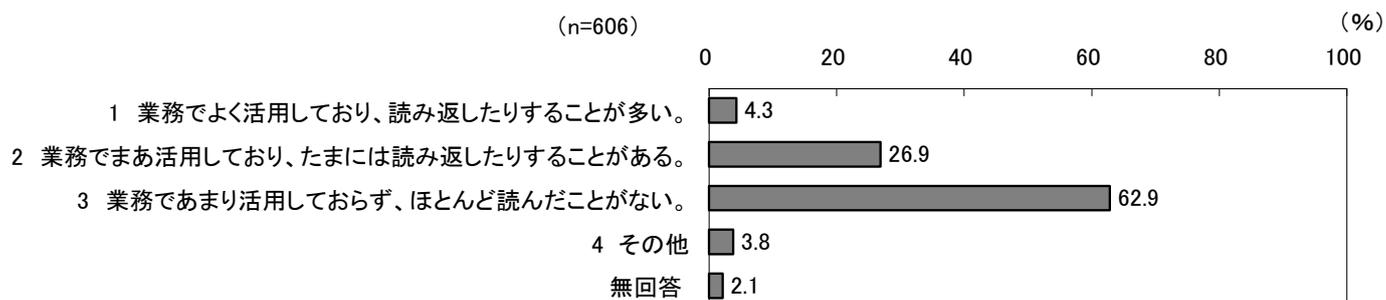


1 総合計画について

【問1】総合計画の活用状況

あなたは、総合計画をどのように活用してきましたか？
以下について、あてはまる番号を1つ選び、記入欄にご記入ください。

【単純集計】



【クロス集計】

単位：%

| | | 業務でよく活用しており、読み返したりすることが多い。 | 業務でまあ活用しており、たまには読み返したりすることがある。 | 業務であまり活用しておらず、ほとんど読んだことがない。 | その他 | 無回答 |
|------------|----------------|----------------------------|--------------------------------|-----------------------------|-----|-----|
| 全体 (n=606) | | 4.3 | 26.9 | 62.9 | 3.8 | 2.1 |
| 年齢 | 18～29歳 (n=83) | 3.6 | 10.8 | 83.1 | 2.4 | 0.0 |
| | 30～39歳 (n=123) | 3.3 | 16.3 | 74.8 | 3.3 | 2.4 |
| | 40～49歳 (n=168) | 4.8 | 29.2 | 58.9 | 4.8 | 2.4 |
| | 50歳以上 (n=227) | 4.8 | 36.6 | 53.3 | 4.0 | 1.3 |
| 職種 | 一般事務 (n=215) | 5.1 | 36.7 | 50.7 | 6.0 | 1.4 |
| | 一般事務以外 (n=384) | 3.9 | 21.6 | 70.1 | 2.6 | 1.8 |

⇒総合計画は活用されていない。この傾向は、若手職員（39歳以下）・一般事務以外の職員で強い。

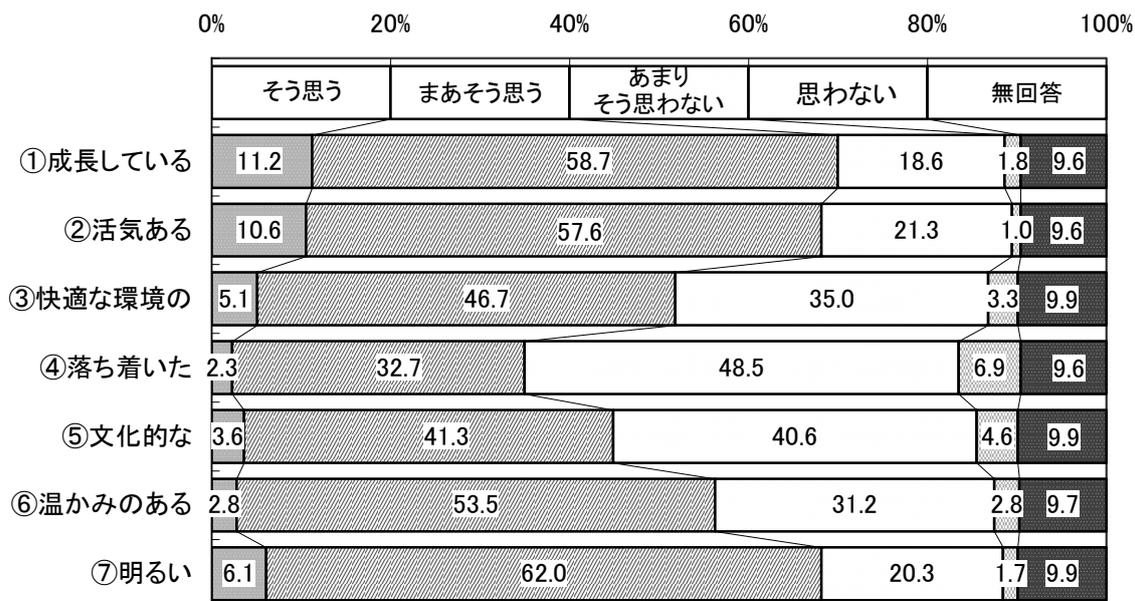
単純集計結果をみると、「3 業務であまり活用しておらず、ほとんど読んだことがない。」が多く、62.9%と6割以上に達している。

クロス集計結果をみると、この傾向は比較的若い職員（39歳以下）と一般事務以外の職員で強くなっており、今後、若手職員などを主たるターゲットとしながら、計画の周知、策定への機運醸成を図っていくことが有効と考えられる。

【問2】現在の船橋市のイメージ

あなたにとって、現在の船橋市はどのようなイメージですか？
 次の①～⑦の対照的なイメージについて、左右のどちらに近いか、4～1のうちあてはまる番号を1つ選び、記入欄にご記入ください。

【単純集計】※



※回答「左のイメージ」を“そう思う”、「やや左のイメージ」を“まあそう思う”、「やや右のイメージ」を“あまりそう思わない”、「右のイメージ」を“思わない”と置き換えた。

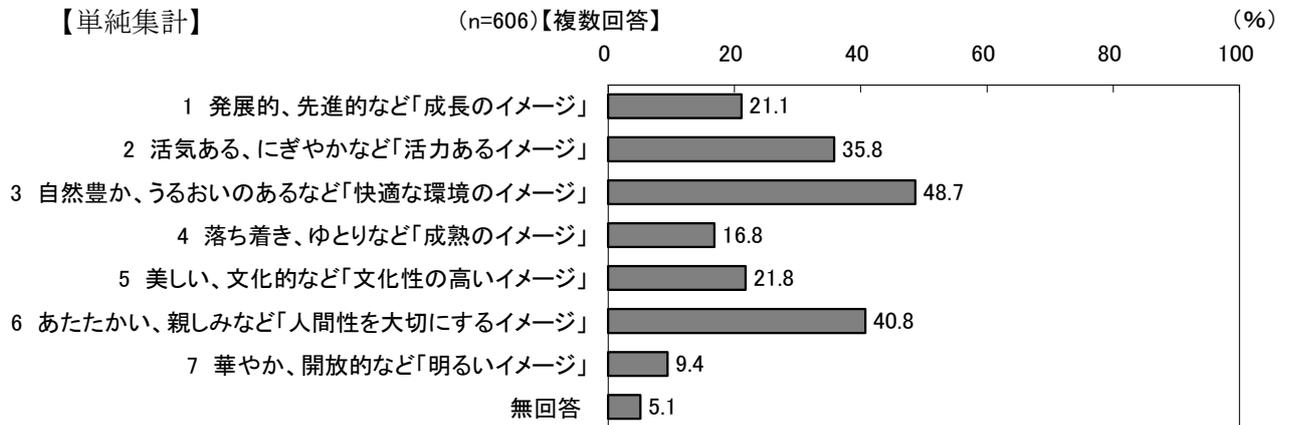
⇒現在の船橋市は、成長している活気ある明るい都市というイメージが強い。
 一方、落ち着いた、文化的なといった静的なイメージが弱い。

「そう思う」「まあそう思う」の合計により、現在の船橋市のイメージとして支持されているものを比較すると、「①成長している」(合計 69.9%) 「②活気ある」(合計 68.2%) 「⑦明るい」(合計 68.1%) が同程度に多くなっており、船橋市は“成長している活気があって明るい都市”という動的なイメージを持たれていることがわかる。

反面、「④落ち着いた」(合計 35.0%) 「⑤文化的な」(合計 44.9%) は少なく、相対的に、静的なイメージを持ちにくい都市と受け止められていることがわかる。

【問2-1】これから高めたい船橋市のイメージ

あなたにとって、今後高めたい船橋市のイメージは、どのようなイメージですか？
次の中から、あてはまる番号を2つまで選び、記入欄にご記入ください。

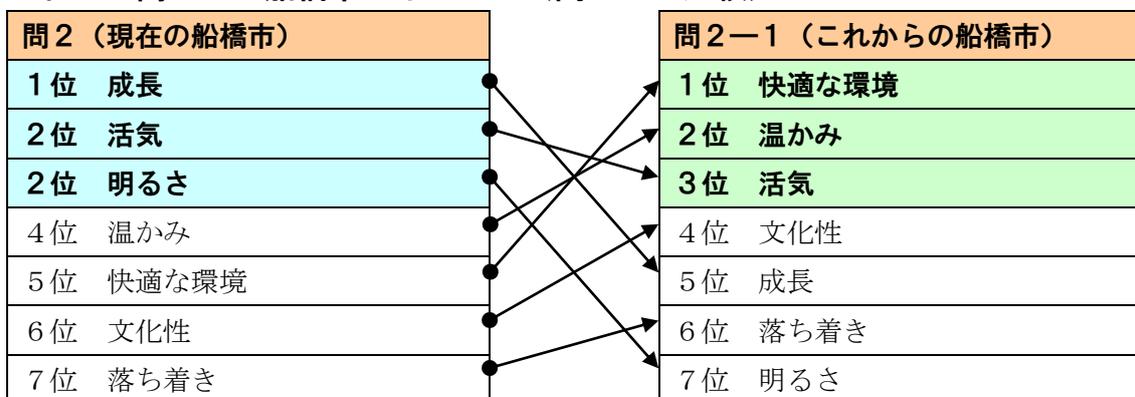


⇒これから高めたい船橋市のイメージとしては「快適な環境の都市」が多い。
現在の良いイメージ（活気ある都市）を活かしつつ、快適な環境の都市というイメージを高めたいという意向がみえてくる。

これから高めたい船橋市のイメージとしては、現在の政策との関連もあって「3 快適な環境の」（48.7%）が最も多くなっており、これに「6 人間性を大切にする」「2 活気ある」が続いている。

また、問2との関係は以下のとおりであり、現在のイメージ（活気ある都市）を伸ばしつつ、快適な環境の都市というイメージを高めたいという意向がみえてくる。

これから高めたい船橋市のイメージ（問2との比較）

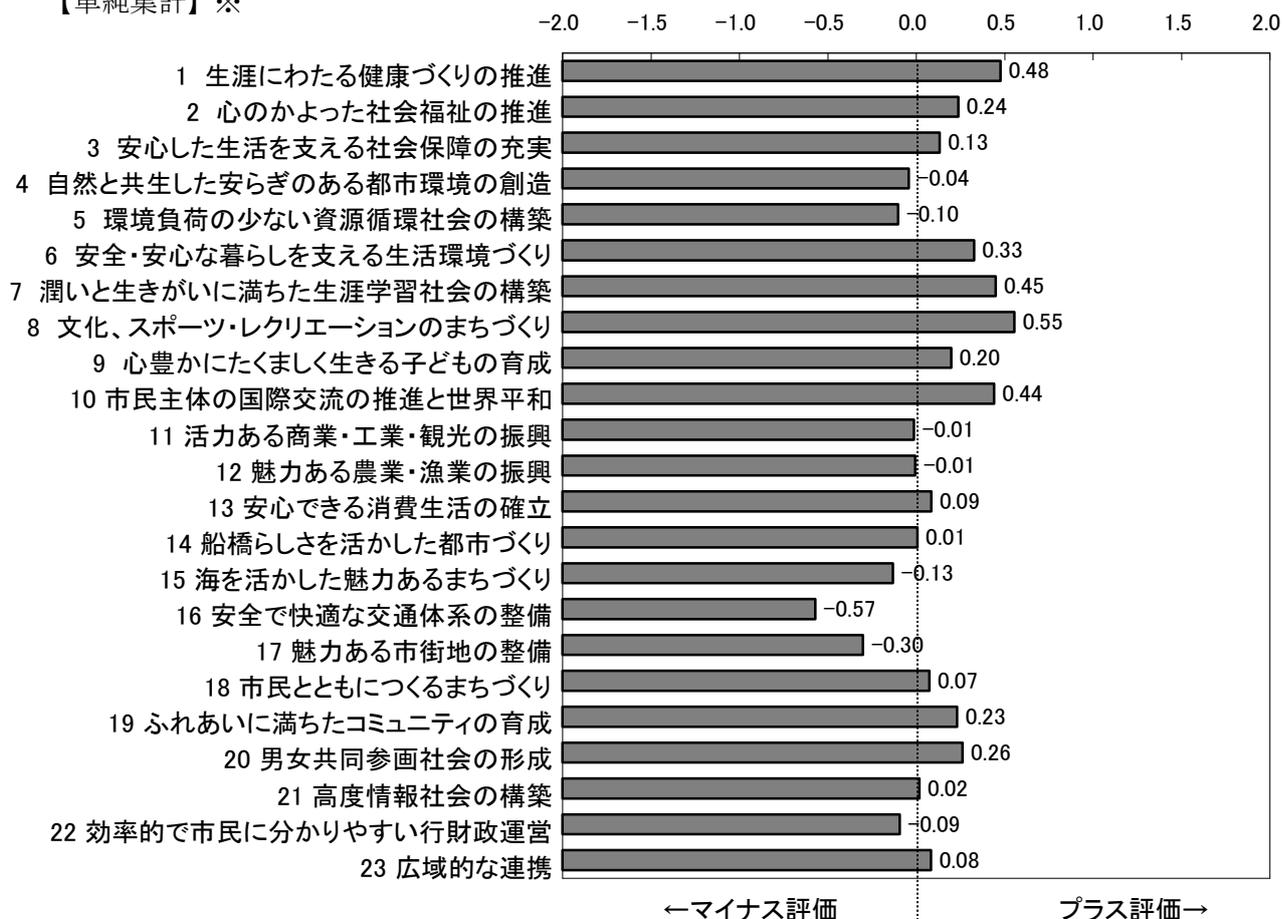


3 市の取り組みに対する満足度と、これからの重要度について

【問3】満足度

現在、船橋市では、総合計画に位置づけられた23の柱に沿って、施策を推進しています。あなたは、船橋市の次のような取り組みについて、現状でどの程度満足していますか？次の1から23までの各項目につき、5段階で評価し記入欄に番号をご記入ください。なお、具体的な施策は、「船橋市総合計画」冊子またはホームページをご覧ください。

【単純集計】※



⇒概して教育文化・スポーツ・コミュニティ分野では満足度が高いが、市街地整備・交通体系分野では満足度が低い。

取り組みに関する満足度を現行計画の施策に対する評価点からみると、「8 文化、スポーツ・レクリエーションのまちづくり」(0.55)に対する満足度が最も高くなっており、これに「1 生涯にわたる健康づくりの推進」「7 潤いと生きがいに満ちた生涯学習社会の構築」「10 市民主体の国際交流の推進と世界平和」が続いている。

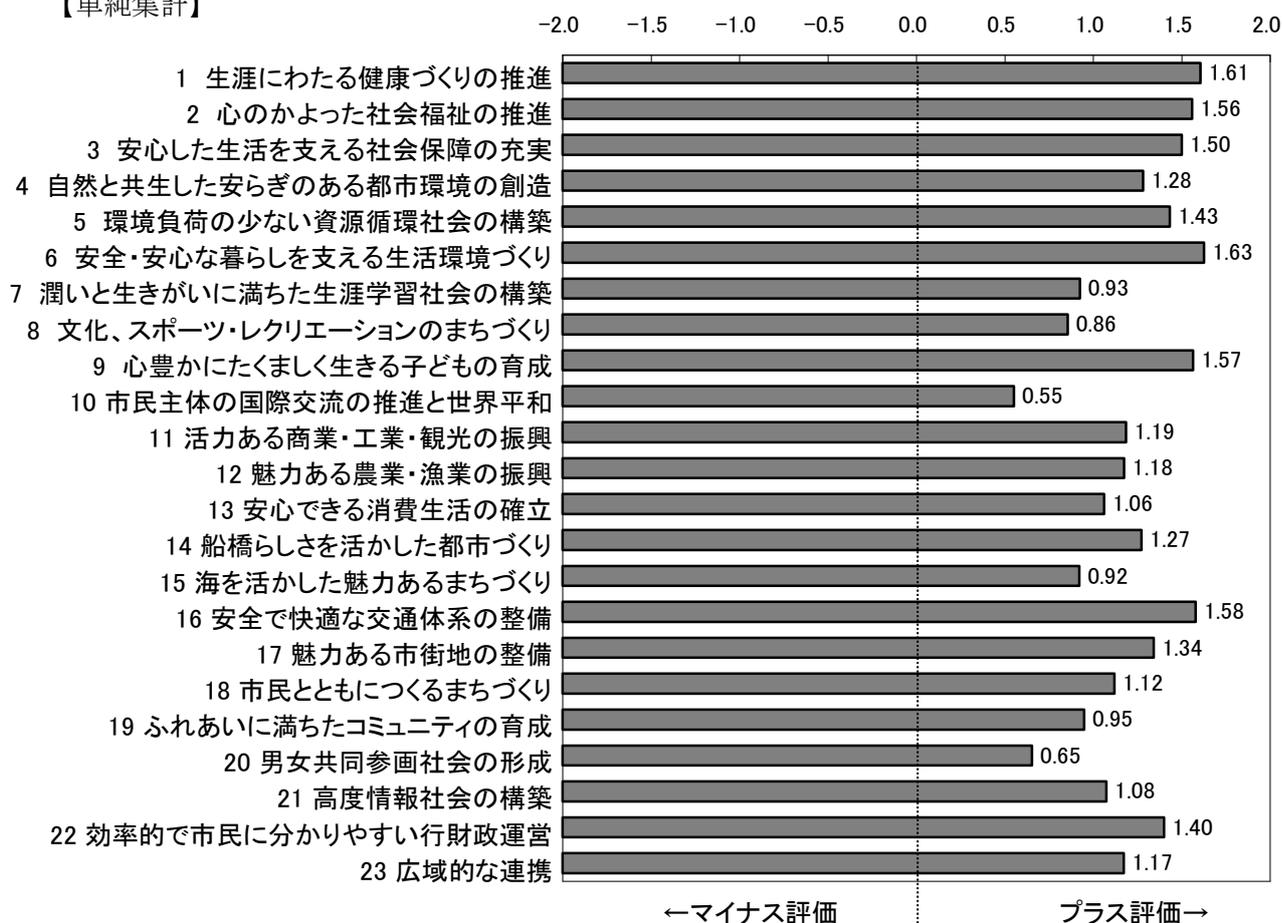
一方、「16 安全で快適な交通体系の整備」(-0.57)「17 魅力ある市街地の整備」(-0.30)については、相対的に不満とする意見が強くなっている。

※選択肢「満足」「やや満足」「やや不満」「不満」に、それぞれ+2、+1、-1、-2点を付し、合計点を回答数で除して+2を上限、-2を下限とする評価点に換算した。

【問4】重要度

また、あなたは、次のような取り組みについて、これからどの程度重要だと考えますか？
次の1から23までの各項目につき、5段階で評価し記入欄に番号をご記入ください。
なお、具体的な施策は、「船橋市総合計画」冊子またはホームページをご覧ください。

【単純集計】



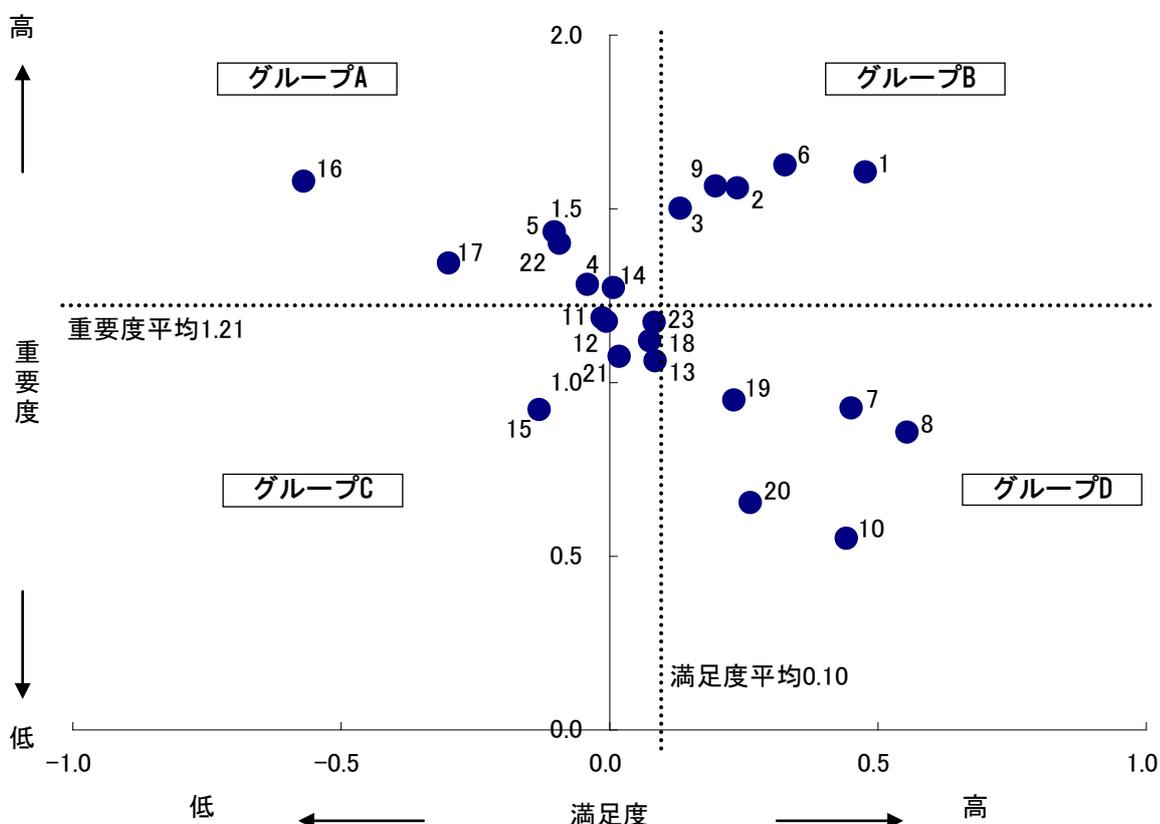
⇒生活環境、健康、交通体系、子ども（教育）、社会福祉、社会保障といった分野の重要度が高い。

今後の取り組みとしての重要度を、問3と同様に評価点からみると、「6 安全・安心な暮らしを支える生活環境づくり」(1.63)に対する重要度が最も高くなっており、これに「1 生涯にわたる健康づくりの推進」「16 安全で快適な交通体系の整備」「9 心豊かにたくましく生きる子どもの育成」「2 心のかよった社会福祉の推進」などが続いている。

一方、問3では相対的に満足度が高かった「10 市民主体の国際交流の推進と世界平和」(0.55)「20 男女共同参画社会の形成」(0.65)については、今後の取り組みとしての重要性が低くなっている様子が見える。

IV 船橋市のまちづくりにおける課題の整理

船橋市の取り組みに対する【問3】満足度・【問4】重要度の相関関係



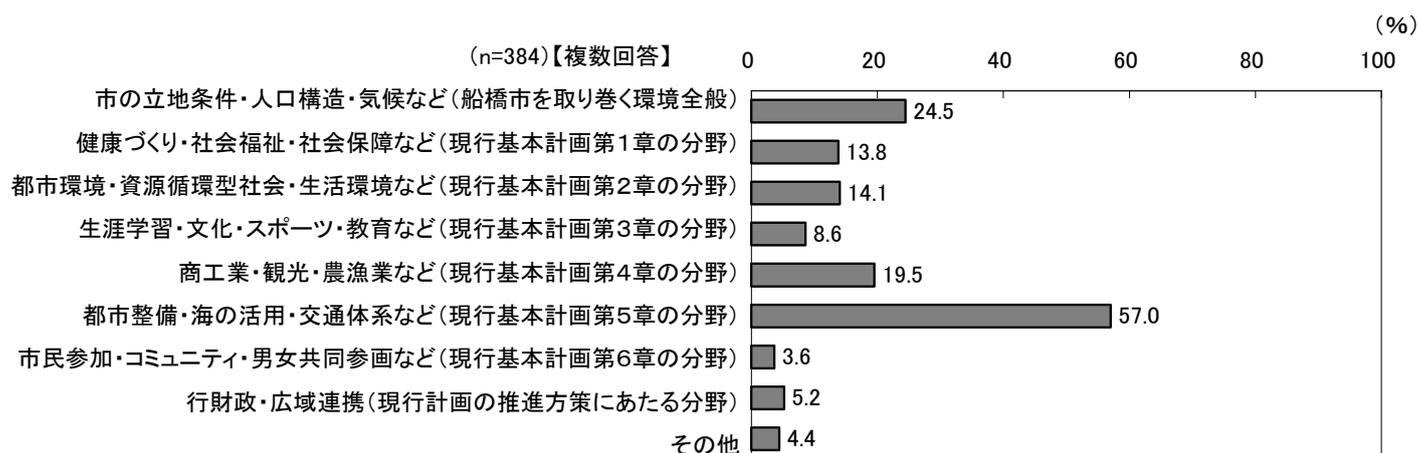
| グループA: 満足度低・重要度高 | グループB: 満足度高・重要度高 |
|------------------------------------|-------------------------------------|
| 16 安全で快適な交通体系の整備(-0.57・1.58) | 6 安全・安心な暮らしを支える生活環境づくり(0.33・1.63) |
| 5 環境負荷の少ない資源循環社会の構築(-0.10・1.43) | 1 生涯にわたる健康づくりの推進(0.48・1.61) |
| 22 効率的で市民に分かりやすい行財政運営(-0.09・1.40) | 9 心豊かにたくましく生きる子どもの育成(0.20・1.57) |
| 17 魅力ある市街地の整備(-0.30・1.34) | 2 心のかよった社会福祉の推進(0.24・1.56) |
| 4 自然と共生した安らぎのある都市環境の創造(-0.04・1.28) | 3 安心した生活を支える社会保障の充実(0.13・1.50) |
| 14 船橋らしさを活かした都市づくり(-0.01・1.27) | |
| グループC: 満足度低・重要度低 | グループD: 満足度高・重要度低 |
| 11 活力ある商業・工業・観光の振興(-0.01・1.19) | 19 ふれあいに満ちたコミュニティの育成(0.23・0.95) |
| 12 魅力ある農業・漁業の振興(-0.01・1.18) | 7 潤いと生きがいに満ちた生涯学習社会の構築(0.45・0.93) |
| 23 広域的な連携(0.08・1.17) | 8 文化、スポーツ・レクリエーションのまちづくり(0.55・0.86) |
| 18 市民とともにつくるまちづくり(0.07・1.12) | 20 男女共同参画社会の形成(0.26・0.65) |
| 21 高度情報社会の構築(0.02・1.08) | 10 市民主体の国際交流の推進と世界平和(0.44・0.55) |
| 13 安心できる消費生活の確立(0.09・1.06) | |
| 15 海を活かした魅力あるまちづくり(-0.13・0.92) | |

注: 表中()は(満足度・重要度)を表す。また、並びは重要度の高い順。

4 船橋市の強みと弱みについて

【問5】船橋市の強み

あなたは、他の都市と比較して「船橋市の方が進んでいる・優れている・可能性が高い」ことは何だと思えますか？
思いあたることを、下記の記入欄にお書きください。



⇒船橋市の強みとして、交通体系（中でも鉄道網の発達による交通利便性の高さ）をあげる意見が多かった。また、立地条件（東京都への近接性）をあげる意見も1/4程度に達した。

本設問は自由記述式であり、384名から延べ579の意見が寄せられた。

回答を現行基本計画の分野ごとに整理すると上表のとおりとなり、「都市整備・海の活用・交通体系など（現行基本計画第5章の分野）」が最も多く、57.0%に達した。

回答の抜粋を以下に記載するが、概して述べると、船橋市の強みは鉄道の利便性、東京に近接する立地条件であり、このほか、人口構造の若さ、都市近郊の自然などがあげられている。

IV 船橋市のまちづくりにおける課題の整理

【回答の例】

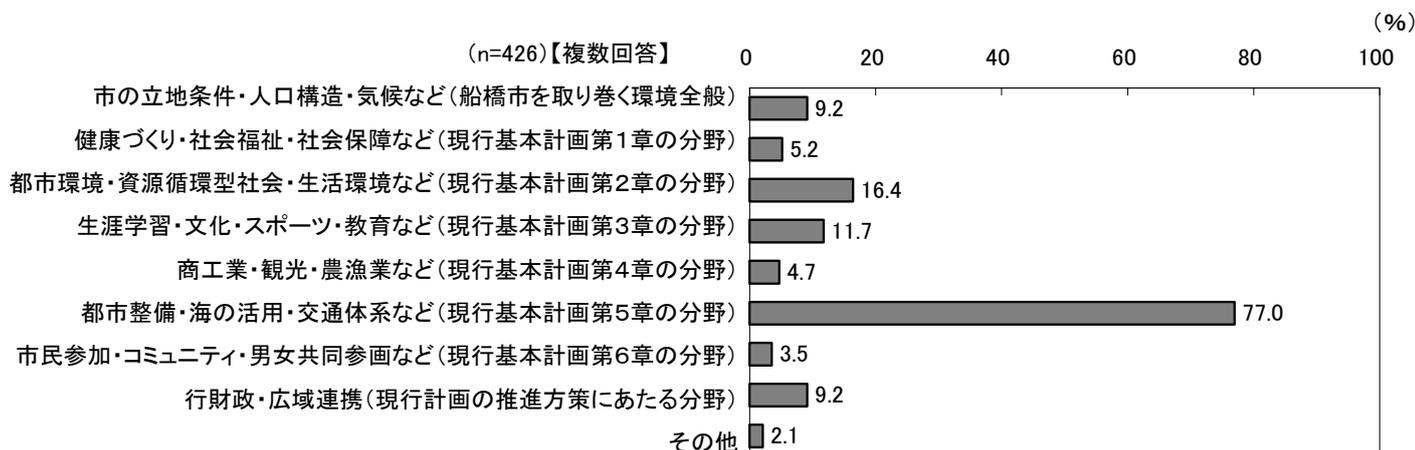
| 市の立地条件・人口構造・気候など（船橋市を取り巻く環境全般） |
|---|
| J R等鉄道機関の利用で都心へは30分、また、成田空港から近いばかりでなく、京葉港や豊かな交通網を併せ持つなど、非常に恵まれた立地条件を備えた都市であり、特に鉄道に関しては、J R 3路線と私鉄が6路線あり、駅に関しては、市内に35駅あるという、首都圏近郊整備地帯の中でも特筆すべき都市である。 |
| 現在も人口の伸びがあり、多様な世代が共存し、活力ある街づくりへの展望がある。 |
| 幹線道路・鉄道網の拡がりがある等から考えると、商業、農業、工業などの充実・発展には最高の条件を備えている。 |
| 都市部近くにあるため、今後も都市部に通勤する人たちの住まいとしての価値は続くと考えられ、この点は、本市にとってとても大きな魅力であり、有益なものだと思う。 |
| 他市と比較して、地理的な優位性が挙げられる。交通面では都心に近く、市前面では南部は海に面し、北部は自然が残り、市街地に接した都市型農業が残っており居住の場としての魅力を富んでいる。 |
| 健康づくり・社会福祉・社会保障など（現行基本計画第1章の分野） |
| 医療・健康・福祉・社会教育の面で近隣市より進んでおり、安心して住める街であると思います。 |
| 千葉市と比較して福祉施設等が多く、充実していると思う。（保育園、公民館、児童ホーム、老人福祉センター、放課後ルーム） |
| ドクターカーの導入やリハビリテーション病院の開院、地域がん診療連携拠点病院としての医療センターなど、医療関係は周辺他市より進んでいると思うので、健康への不安を緩和することができるというのは強みになるかと思います。 |
| 都市環境・資源循環型社会・生活環境など（現行基本計画第2章の分野） |
| 都心から近い割に緑が豊かなこと。海が近く、住宅街では森などもある。自然が豊かなので子育てしやすい。 |
| まだ自然があちこちに残っている土地柄を活かしていくことが希望です。労働と休息が同じ土地市内で両手に入る素晴らしい市だと思います。 |
| 都市圏内にありながら三番瀬や海老川源流部の金杉谷津田、北部県民の森周辺樹林地など価値の高い自然を有していること、が挙げられる。 |
| 生涯学習・文化・スポーツ・教育など（現行基本計画第3章の分野） |
| 公民館などの公共施設が充実していて、研修・学習会などで利用しやすい。 |
| 音楽やサッカー、野球など青少年の全国的な活躍が市民に希望を与えている。 |
| 県内において、教育環境の整備が進んでいる。（小中学校における英語教育、特別支援教育、学習サポーター、部活動支援ボランティア制度など） |

| |
|---|
| 商工業・観光・農漁業など（現行基本計画第4章の分野） |
| J R 船橋駅・津田沼駅周辺の大型商業施設やららぽーと等により、買物をするには便利であり、住みやすい都市である。 |
| 海に近く、アサリ・海苔等、特有の海産物が捕れる。また、内陸ではナシ園・農園が多く、鮮度の高い海産物、農産物が手に入る。 |
| 競馬場やららぽーとといった娯楽施設があり、街に活気がある。 |
| 都市整備・海の活用・交通体系など（現行基本計画第5章の分野） |
| 鉄道網が充実しており、鉄道による交通利便性が高い。（※同様の意見が非常に多い） |
| 鉄道については、複数の鉄道が乗り入れていることから利便性が良く、都心に勤めている人たちには住居の場所として便利なおところにあると思われます。 |
| 当市は、公共交通網が鉄道10路線、バスも多路線あり、他市と比較して充実している。中でも当市の玄関口でもある船橋駅は県内有数の交通ターミナルとなっている。 |
| 船橋駅北側には広大な市街化調整区域で未開発な土地があり今後発展していく余地が十分ある。考え方によっては白いキャンパスに絵を描くように自由にまちづくりができる（権利者の制約はあるが）。市川、千葉にはない利点だと思う。 |
| 船橋市の中心にはまだ調整区域が広がっており、ここに何かを誘致し、自然を活かした都市的な町づくりが出来るのではないのでしょうか。 |
| 市民参加・コミュニティ・男女共同参画など（現行基本計画第6章の分野） |
| ベッタウンとして、若い市民力がこれから活用できる環境。 |
| マンパワーの充実。県内初の中核市であり、人口も多いため‘人’を上手く動かすことが出来れば、大きな力になると思う。 |
| 大きな人口規模を有することから、多数・多様な人的資源を活用したまちづくりが可能である。 |
| 行財政・広域連携（現行計画の推進方策にあたる分野） |
| JR 船橋駅にあるフェイスの各種届出や住民票請求等の時間外市民サービスは、船橋市から転出してみてから、その便利さが優れているのがわかりました。また、出張所の数も多く、市民サービス面は、その点からも優れていると思います。 |
| 歳入に占める市税の割合が58%（平成18年度決算額）と他の中核市と比較して高い。このため、国や県への財政的な依存度が低く、国や県の施策に左右されることなく、市独自の施策を打ち出しやすい状況である。 |
| 中核市として行政面・経済面で優れていると思う。 |

IV 船橋市のまちづくりにおける課題の整理

【問6】船橋市の弱み

あなたは、他の都市と比較して「船橋市の方が遅れている・劣っている・可能性が低い」ことは何だと思いますか？
思いあたることを、下記の記入欄にお書きください。



⇒船橋市の弱みとして、都市整備・交通体系（中でも道路交通網のぜい弱さ）をあげる意見が非常に多かった。このほか、都市イメージの希薄さ、下水道等基盤整備の遅れ、文化施設の弱さ、行政運営の保守的さといった意見も、ある程度みられた。

問6と同様に本設問も自由記述式であり、426名から延べ591の意見が寄せられた。

回答を現行基本計画の分野ごとに整理すると上表のとおりとなり、「都市整備・海の活用・交通体系など（現行基本計画第5章の分野）」が非常に多く、77.0%に達した。

回答の抜粋を以下に記載するが、概して述べると、船橋市の弱みは特に道路交通網のぜい弱さにあるとする意見が非常に多くなっており、このほかには、都市イメージの希薄さ、公共下水道整備の遅れ、文化施設の弱さ、都市整備の遅れ、行政運営の保守的な面などがある程度あげられている。

【回答の例】

| |
|---|
| 市の立地条件・人口構造・気候など（船橋市を取り巻く環境全般） |
| 駅周辺とそうでない所の利便性の差が大きい。 |
| 高度成長期に船橋に移住してきた人が、今高齢者になっており、活気がないこと。 |
| 市の長期的なビジョンに基づいた20年先、50年先の船橋市の姿が見えてこない。 |
| 首都のベッドタウンから、暮らす、遊ぶ、学ぶといった視点での船橋市の独自性・個性といった魅力が不足している。 |
| 他の中核市と比較し、船橋市には全国へ発信することが出来る事業・観光資源・イベント等が見当たらない。〔(例) 青森市の「青森ねぶた祭」、姫路市の「姫路城」、松山市の「道後温泉」、大分市の「大分トリニータ」等〕このため、市としてのカラーが乏しく、全国へアピールが必要などときにはこれといった特徴がないまちと見られる。 |
| 健康づくり・社会福祉・社会保障など（現行基本計画第1章の分野） |
| 子育て世代への医療費補助が不足している。乳幼児医療費助成が就学までへのびたが、義務教育終了までへのばしたり、任意予防接種（流行性耳下腺炎、水痘等）補助している市がある。 |
| 船橋市の保健衛生・福祉部門については、他市と比較し本来行政が行うべき役割についての精査した上で民間力を有効に活用しアウトソーシングを推進したり、保健師等の限られた専門職人員の適正配置の問題や、中核市移行後の保健所内の組織編成や事務分掌などについて、適切な時期に評価・再編成作業が行われておらず、行政組織の構造の面で弱みがあるように感じている。 |
| 東京都と比べると医療費負担が大きい。 |
| 都市環境・資源循環型社会・生活環境など（現行基本計画第2章の分野） |
| ゴミの分別が大雑把ですよね。将来的に大丈夫でしょうか？ |
| 下水道整備の遅れや中小河川の未整備による環境の改善が立ち遅れている。 |
| 船橋駅前周辺にパチンコ屋や風俗店などの娯楽商業施設が多く、治安が悪く感じる。 |
| 生涯学習・文化・スポーツ・教育など（現行基本計画第3章の分野） |
| 千葉市・市川市と比較して、公民館等の参加型の活動は盛んだが、美術・音楽鑑賞等の享受型の活動の普及がまだまだ進んでいないと思われます。 |
| 中核市として更なる文化施設を設置できると思うが、文化面のイメージが低いように思う。 |
| 文化活動スポーツが盛んだが、発信力が乏しい。スポーツでも市船のサッカーだけでなく、町をあげて市民全員がサポーターという一体感があると盛り上がり、商業振興にもつながるのでは？ |

IV 船橋市のまちづくりにおける課題の整理

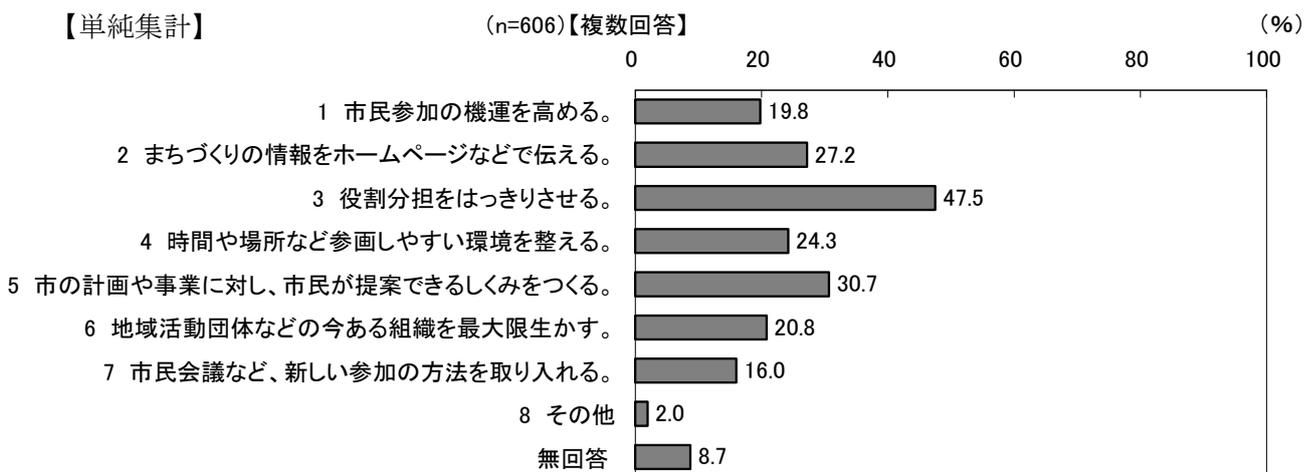
| |
|---|
| 商工業・観光・農漁業など（現行基本計画第4章の分野） |
| どこの市にも問題にはなっているが、大型店舗に押されて、昔からの小さな店がなくなってしまっている。 |
| 産業においては、昼夜間人口の比率が低く、中枢都市機能の集積が少ない。食品コンビニやららぽーとなどがあるが、ソフト生産、情報通信系サービスが劣っている。 |
| 内陸部の工場撤退に見られるように、雇用の場（市税の税収減）がなくなることになり、長期的に見て市としての活力がそがれるように思われる。 |
| 都市整備・海の活用・交通体系など（現行基本計画第5章の分野） |
| 狭隘道路が多く、かつ、道路整備が遅れているため幹線道路への負担が大きく渋滞が慢性的に発生している。（※同様の意見が非常に多い） |
| 急激な都市化に未だ追いついていないため、都市基盤施設も他のどの都市に比べても貧弱である。 |
| 市街化調整区域の土地に開発を容認したことによる環境の悪化、農地に隣接して住宅街ができてしまっているなどの、都市計画マスタープランとの不整合。 |
| 市内の道路が貧弱である。また、市街化調整区域内の宅地開発事業の緩和措置などにより、業者ペースの開発がまかり通っており、計画的な都市づくりが図りにくくなっている。 |
| 街並みや公園等公共施設について、その景観に統一性がなく、安らげる雰囲気とは言い難い。 |
| 市民参加・コミュニティ・男女共同参画など（現行基本計画第6章の分野） |
| 住民主導のまちづくりが盛んでないことも他市に較べ劣っている。行政として市民参加のまちづくりへの取り組みが極めて遅れたことが要因とを感じる。 |
| 今もなお、首都圏のベッドタウンとして発展しているため、いわゆる千葉都民が多く「地域に愛着がもてない」「地域や住民どうしのつながりが希薄である」などから、地域のことは地域住民の手で行うといった共助の部分において弱い。 |
| 市民活動が、相対的に他市と比べて低迷している。市民活動の活性化について、行政が適切な時期に、適切な施策を行っていない。市民活動組織等に関して、行政のセクションごとに、市民活動もカテゴライズされている。 |
| 行財政・広域連携（現行計画の推進方策にあたる分野） |
| 業務の電子化。 |
| 歳入構造は個人市民税に依存度が高い。経常収支比率が高く、財政の硬直化の傾向がみられる。 |
| 市の施策が、画一的である。組織横断的な、政策や施策が展開されていない。 |
| 先進的な取り組み（電子行政、市民との協働、環境整備等）に対して保守的である。 |
| 昇任試験や職務職階制など明確な人事考課制度がなく、市職員の能力が劣っている。 |

5 協働のまちづくりについて

【問7】協働のまちづくりのために必要なこと

船橋市では平成20年3月に「市民協働の指針」を作成し、この「協働のまちづくり」を進めようとしています。

あなたは、「協働のまちづくり」を進めるために、どのようなことが必要だと思いますか？次の中から、あてはまる番号を2つまで選び、記入欄にご記入ください。



⇒協働のまちづくり推進のためには、市民と行政の役割分担の明確化が必要であると多くの意見が多い。このほか、市民が計画や事業に参画できる仕組みづくりや、情報の発信、参画しやすい環境づくりなど重要と考えられている。

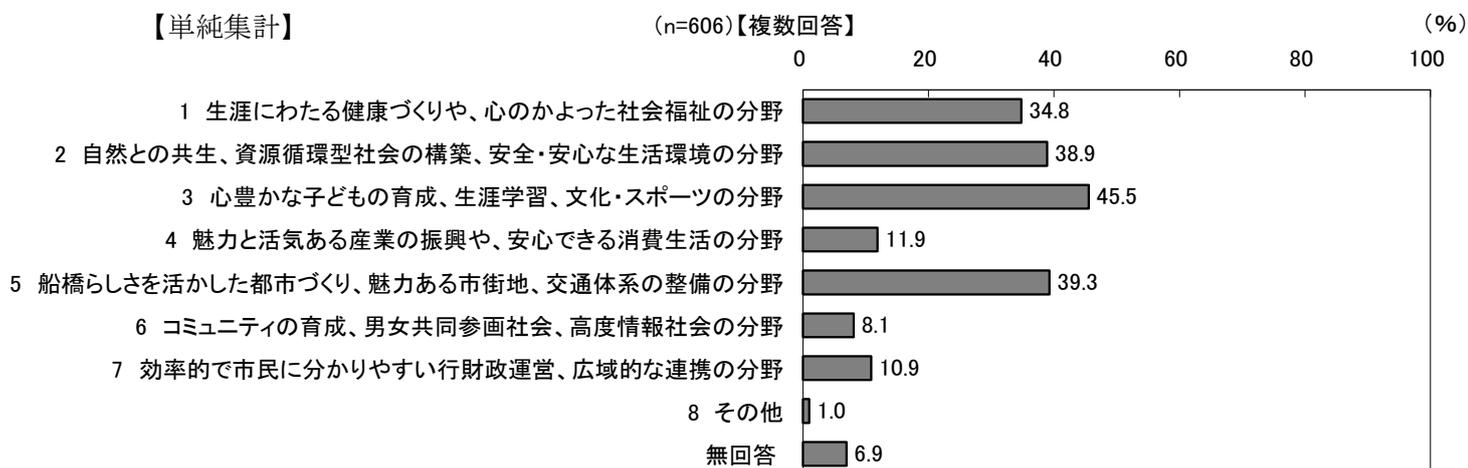
市民と行政による協働のまちづくりを推進するために必要な取り組みをみると、「3 役割分担をはっきりさせる。」(選択肢原文：3 市民がすべきこと、行政がすべきこと、協力すべきことの役割分担をはっきりさせる。)が最も多く、47.5%に達している。

これに「5 市の計画や事業に対し、市民が提案できるしくみをつくる。」「2 まちづくりの情報をホームページなどで伝える。」(選択肢原文：2 まちづくりの情報を、広報やホームページなどでわかりやすく伝える。」「4 時間や場所など参画しやすい環境を整える。」(同：4 時間や場所、応募方法など、さまざまな人々が参画しやすい環境を整える。)が続いており、市民参画の仕組みづくり、情報の発信(市民との情報共有)、参画しやすい環境づくりが大切と考えられている様子が見えてくる。

IV 船橋市のまちづくりにおける課題の整理

【問8】これから協働を進めるべき分野

あなたは、今後、特に協働を進めていくべき分野は何だと思いますか？
次の中から、あてはまる番号を2つまで選び、記入欄にご記入ください。



⇒協働のまちづくりが求められる分野として、教育文化、生活環境、市街地整備、健康づくり・福祉といった分野が多くあげられている。

「3 心豊かな子どもの育成、生涯学習、文化・スポーツの分野」(45.5%)「2 自然との共生、資源循環型社会の構築、安全・安心な生活環境の分野」(38.9%)「5 船橋らしさを活かした都市づくり、魅力ある市街地、交通体系の整備の分野」(39.3%)「1 生涯にわたる健康づくりや、心のかよった社会福祉の分野」(34.8%)が多くなっており、市民と行政による協働のまちづくりを推進すべき分野として考えられていることがわかる。

一方、行政関与のあり方が相対的に薄いと思われる分野（「4 魅力と活気ある産業の振興や、安心できる消費生活の分野」「6 コミュニティの育成、男女共同参画社会、高度情報社会の分野」）と、行政自身の問題とも捉えられる分野（「7 効率的で市民に分かりやすい行財政運営、広域的な連携の分野」）については、協働を進めるべきとする意見が少なくなっている。

6 これからの方向性について

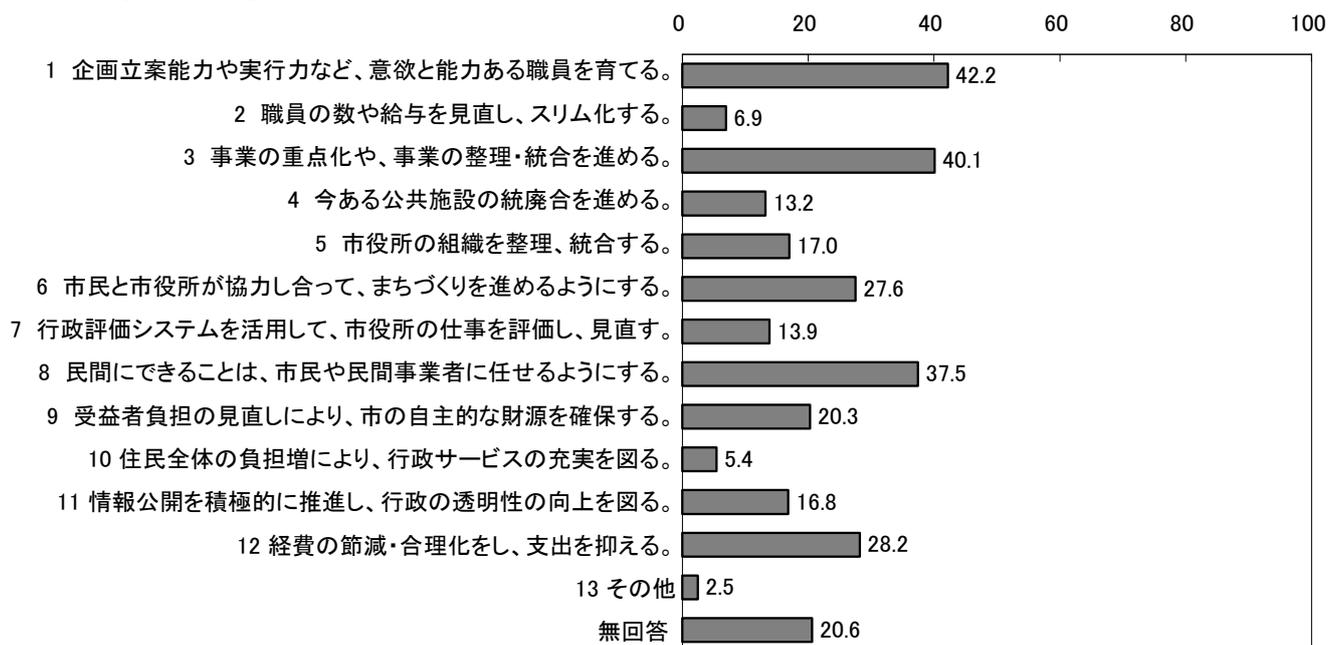
【問9】 これからの行財政改革

社会経済の変容が進むなか、船橋市にもさまざまな改革が求められています。あなたは、市役所の行財政改革として、どのようなことが重要だと思いますか？次の中から、あてはまる番号を3つまで選び、記入欄にご記入ください。

【単純集計】

(n=606)【複数回答】

(%)



【クロス集計】

単位：%

| | | 企画立案能力や実行力などに優れた、意欲と能力ある職員を育てる。 | 職員の数や給与を見直し、スリム化する。 | 事業の重点化や、事業の整理・統合を進める。 | 今ある公共施設の統廃合を進める。 | 市役所の組織を整理、統合する。 | 市民と市役所が協力し合って、まちづくりを進めるようにする。 | 行政評価システムを活用して、市役所の仕事を評価し、見直す。 |
|------------|----------------|---------------------------------|---------------------|-----------------------|------------------|-----------------|-------------------------------|-------------------------------|
| 全体 (n=606) | | 42.2 | 6.9 | 40.1 | 13.2 | 17.0 | 27.6 | 13.9 |
| 年齢 | 18～29歳 (n=83) | 51.8 | 10.8 | 39.8 | 7.2 | 18.1 | 32.5 | 15.7 |
| | 30～39歳 (n=123) | 45.5 | 7.3 | 34.1 | 12.2 | 17.1 | 30.1 | 14.6 |
| | 40～49歳 (n=168) | 41.1 | 8.3 | 36.3 | 16.7 | 18.5 | 24.4 | 15.5 |
| | 50歳以上 (n=227) | 38.8 | 4.4 | 47.1 | 13.2 | 15.4 | 27.3 | 11.9 |
| 職種 | 一般事務 (n=215) | 39.5 | 7.4 | 55.3 | 14.9 | 15.3 | 23.3 | 12.6 |
| | 一般事務以外 (n=384) | 41.9 | 11.5 | 18.2 | 10.9 | 23.2 | 23.7 | 10.9 |

IV 船橋市のまちづくりにおける課題の整理

【クロス集計】(続き)

単位: %

| | | 民間にできることは、市民や民間事業者に任せるようにする。 | 使用料・手数料などの受益者負担の見直しにより、市の自主的な財源を確保する。 | 住民全体の負担増により、行政サービスの充実を図る。 | 情報公開を積極的に推進し、行政の透明性の向上を図る。 | 経費の節減・合理化をし、支出を抑える。 | その他 | 無回答 |
|------------|----------------|------------------------------|---------------------------------------|---------------------------|----------------------------|---------------------|-----|------|
| 全体 (n=606) | | 37.5 | 20.3 | 5.4 | 16.8 | 28.2 | 2.5 | 20.6 |
| 年齢 | 18～29歳 (n=83) | 38.6 | 13.3 | 4.8 | 19.3 | 32.5 | 0.0 | 10.8 |
| | 30～39歳 (n=123) | 34.1 | 22.0 | 4.1 | 18.7 | 27.6 | 3.3 | 20.3 |
| | 40～49歳 (n=168) | 38.7 | 22.0 | 5.4 | 17.9 | 22.0 | 3.6 | 25.0 |
| | 50歳以上 (n=227) | 38.3 | 21.1 | 6.6 | 14.5 | 31.7 | 2.2 | 22.0 |
| 職種 | 一般事務 (n=215) | 42.3 | 20.5 | 7.0 | 10.7 | 27.9 | 4.7 | 16.7 |
| | 一般事務以外 (n=384) | 35.4 | 20.3 | 4.7 | 20.3 | 28.9 | 1.3 | 25.0 |

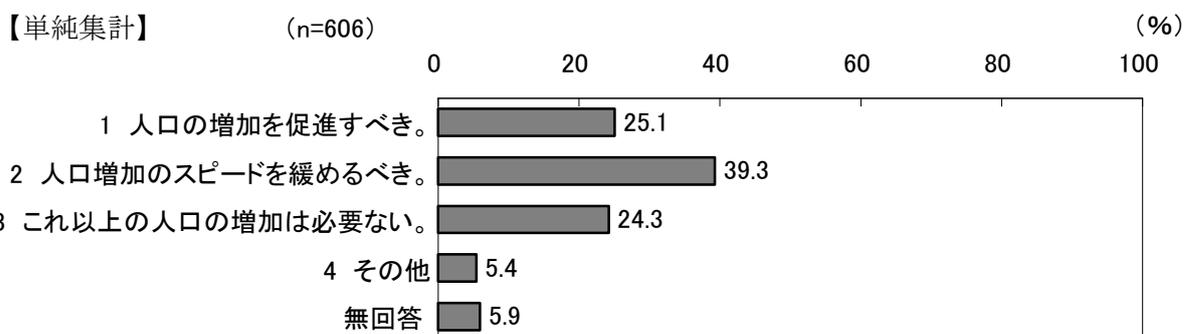
⇒これからの行財政改革のためには、意欲と能力ある職員の育成（若手職員ほど支持）・事業の重点化や整理統合（年長の職員ほど支持）・民間委託の推進が重要とする意見が多い。
一方で、市役所のスリム化・住民負担の増加をあげる職員は比較的少数となっている。

今後、行財政改革を進めるために求められることとしては、「1 企画立案能力や実行力など、意欲と能力ある職員を育てる。：意欲と能力ある職員の育成」（42.2%）「3 事業の重点化や、事業の整理・統合を進める。：事業の重点化や整理統合」（40.1%）「8 民間にできることは、市民や民間事業者に任せるようにする。：民間委託の推進」（37.5%）が多くなっており、これに「12 経費の節減・合理化をし、支出を抑える。：経費の節減」「6 市民と市役所が協力し合って、まちづくりを進めるようにする。：協働まちづくりの推進」が続いている。

一方、「2 職員の数や給与を見直し、スリム化する。：市役所のスリム化」「10 住民全体の負担増により、行政サービスの充実を図る。：負担の増加によるサービス充実」をあげる職員は少なくなっており、単に人員や事業規模の縮小を図れば良いというものではない、という職員の考えがみてとれる。

【問10】 これからの人口政策

近年の人口移動の傾向を反映させるため、将来人口・世帯数推計の見直しを実施しました（HPに掲載）が、今後の船橋市の人口政策について、あなたはどのように思いますか？
次の中から、あてはまる番号を1つ選び、記入欄にご記入ください。



【クロス集計】 単位：%

| | | 人口の増加を促進すべき。 | 人口増加のスピードを緩めるべき。 | これ以上の人口の増加は必要ない。 | その他 | 無回答 |
|------------|----------------|--------------|------------------|------------------|-----|-----|
| 全体 (n=606) | | 25.1 | 39.3 | 24.3 | 5.4 | 5.9 |
| 年齢 | 18～29歳 (n=83) | 34.9 | 42.2 | 16.9 | 2.4 | 3.6 |
| | 30～39歳 (n=123) | 34.1 | 34.1 | 24.4 | 2.4 | 4.9 |
| | 40～49歳 (n=168) | 24.4 | 34.5 | 25.6 | 8.9 | 6.5 |
| | 50歳以上 (n=227) | 17.2 | 44.9 | 26.4 | 5.7 | 5.7 |
| 職種 | 一般事務 (n=215) | 25.6 | 36.7 | 21.9 | 9.8 | 6.0 |
| | 一般事務以外 (n=384) | 24.7 | 40.9 | 26.0 | 3.1 | 5.2 |

⇒これからの船橋市は、人口増加のスピードを抑えるべきとする意見が多い。

これからの人口政策の方向性としては、「2 人口増加のスピードを緩めるべき。」(39.3%) が最も多く、「1 人口の増加を促進すべき。」「3 これ以上の人口の増加は必要ない。」が同程度で続いている。

年齢別でみると、「1 人口の増加を促進すべき。」は若い職員ほど多く、また「3 これ以上の人口の増加は必要ない。」は年長の職員ほど多くあげていることがわかる。

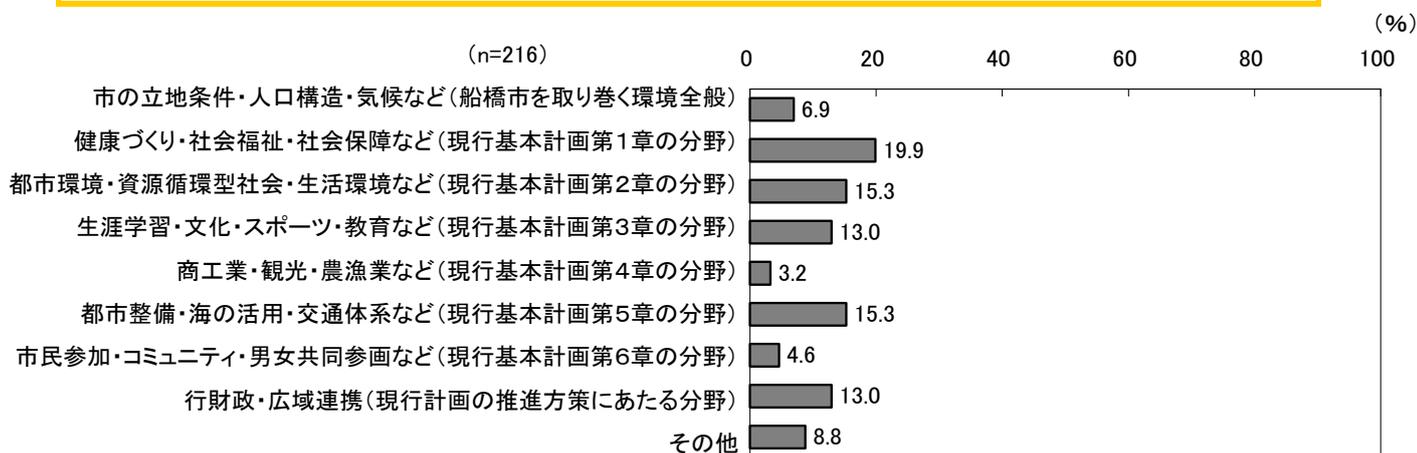
問3（満足度）問4（重要度）や問6（船橋市の弱み）からは、人口増加が急激に進んだことによる弊害（都市基盤整備の遅れ・無秩序な開発・居住環境の悪化など）がみてとれ、このようなことを背景として、全般的に人口増加を抑制すべき、という方向性が濃くなっているものと考えられる。

IV 船橋市のまちづくりにおける課題の整理

自由提案 1

【問 1 1】 これからの船橋市の取り組みに関する提案

これからの船橋市の取り組みについて、あなたが関心のあるテーマを1つあげ、以下の記入欄に具体的に提案して下さい。



本設問は自由記述式であり、216名から提案が寄せられた。

回答を現行基本計画の分野ごとに整理すると上表のとおりとなり、「健康づくり・社会福祉・社会保障など(現行基本計画第1章の分野)」が最も多くなっている。

回答の例を以下に記載する。

【回答の例】

市の立地条件・人口構造・気候など(船橋市を取り巻く環境全般)

船橋らしさを活かした都市づくり。似たような都市が多くなる中で、住民に選ばれるためには個性が必要である。船橋は勢いのあるところが魅力だが、反面、煩雑な印象を受けやすく、住空間としての魅力に乏しい部分があるように思う。もともとベットタウンとしての性格が強く、人口も増えているので、その長所を生かす方策を考えた方が良いのではないか。防犯・防災に配慮した、安全で、住民が住みやすく、癒されるまちの創造を目指し、ソフト面・ハード面の充実を図るべきである。

船橋市のイメージづくりについて。漠然としたテーマであるが、今船橋市と聞いて誰もがイメージできる何かがあるであろうか。総合計画の中において、基本理念を設けて目標とするところを定めているが、それはあくまでも目標であり、目指すべき姿であると思われる。であるが、もう少し身近なところで船橋としてのイメージを創りあげ、そこから派生する活力を福祉、文化、医療等々の分野において生かしていくことが必要ではないだろうか。

働き盛り世代が住みたくなるような施策の実施。20代から50代の働き盛り世代が住みやすさを感じる施策、具体的には子育て支援や教育の充実や、文化、緑化推進などの住

| |
|---|
| <p>環境整備をより充実させ、これらの世代の住民増を図り、税収増を推進していくことが必要と考える。</p> |
| <p>健康づくり・社会福祉・社会保障など（現行基本計画第1章の分野）</p> |
| <p>シニアボランティアの活用。定年退職された方などにボランティアを募り、登下校する児童をガードしたり、公園などで見守っていただくことで、安心して暮らせるシステムを作る。市民の方の中には、「税金を払っているから、何でもやってもらって当たり前」という意識を持つ人も多いと思われるが、災害など有事の際は住民力が、おおいに有効であることから「自分の街は自分で守る」という意識をもってもらう事が今後大事と思う。シニアボランティアという名前はダサいので、素晴らしいネーミングにした方がよいと思う。</p> |
| <p>医療・福祉体制の充実強化。高齢化社会が進む一方、病院や福祉施設の職員の減少・高齢化や利用者の増加により、今後さらにサービスの低下が予測される。そのため船橋市の行政サービスの一環として、市の経営する福祉施設や病院の開設および既存の施設への人員の補充、救急車の台数増加等を実施してはどうか。</p> |
| <p>すくすく健やか子育てサポートプランの駅前保育所の整備及び民間と協力した駅型保育の充実利用者の利便性を考え、ぜひ実現に向けていけたらよいと思う。</p> |
| <p>産婦人科医療の充実。</p> |
| <p>少子・高齢化への対応。1、少子化対策（1）職業を持つ女性の場合ア、3歳までの育児休業の保障イ、3歳までの育児費と生活費を貸与し、職場復帰後に給与からその返済にあてる。（2）主婦業の場合※育児も家事と考え、5歳児までは育児手当を保証する。2、高齢者対策（1）生涯学習（高齢者教室）の充実を図る。老人の生きがいつくり（2）介護は家族の一大事と心得え、介護保障（家族への手当て保障）の充実を図る。＜家族介護の基本づくり＞</p> |
| <p>都市環境・資源循環型社会・生活環境など（現行基本計画第2章の分野）</p> |
| <p>E S C O事業。E S C Oとは、建物の電気設備などの省エネルギー化を、E S C O事業者が設計・施工、維持・管理、省エネ効果の計測・検証まで一括して取り組み、かつエネルギーコスト削減額を保証する仕組みです。市で保有する建築物の多くが設備更新時期を迎える中、そのコストを抑えるとともに、財政支出の平準化を図ることは急務と考えます。またE S C O事業は、エネルギーコストの削減を指向するものであり、CO2排出量の低減、温暖化防止といった環境対策の推進にも寄与するものです。まずは効果が見込めそうな公共建築物について導入し、そこで得たノウハウを規模の小さな建築物に適用していけば良いと思います。具体的な導入候補としては、医療センターや本庁舎が望ましいと思われます。</p> |
| <p>クリーンで快適な街づくりの推進。・環境問題への取り組みとゴミ分別リサイクルの推進。ゴミの分別箱を市内のゴミ処分所すべてに配置する。特にペットボトルの分別を推進する必要がある。・交通網の整備。特に交差点などの整備、路線同士の接続を重点に行うことで、渋滞の緩和、事故の軽減、市内居住者の増加につながるものと考え。クリーンな</p> |

IV 船橋市のまちづくりにおける課題の整理

| |
|---|
| <p>街づくりの推進。清潔で文化的な街づくりを目指すために景観の整備と街路樹や花壇などの増加を図る。船橋駅周辺などは再開発事業と併せ、風俗店や娯楽施設などを一般と隔離する。</p> |
| <p>安全・安心な暮らしを支える生活環境づくり。犯罪抑止、マナーの向上（ポイ捨て、自転車の右側通行等）を他機関と協力し、積極的な広報が必要。</p> |
| <p>自然と共生した安らぎのある都市環境の創造。近年、他県・他市町村における「里山づくり」の話題が良くマスコミに取り上げられている。船橋市の北部地域にはまだ多くの自然が残されている。まだ市民の憩いの場として活用出来る場があるのではないかな。</p> |
| <p>水と緑の環境保全。開発に伴い緑地がどんどん少なくなっている。水と緑は、人が生活する上で大変大切な要素である。*中心市街地は、殆ど緑地がない状態であり大きな公園は天沼公園程度である。新たに公園を作るのは財政負担も多くなり、実現性が少なくなる。そこで、街路樹・花壇の整備を充実する。その維持管理は、行政と住民との協同であたる。*里山の保全。市街化が進む前はいたるところに水と緑が豊富な谷地があり、子供たちが魚取りや虫取りなどをして自然にふれあい伸び伸びと遊び心身ともに健康に育ってきた。そこで、市街地近郊に残された里山や谷地を保全する。</p> |
| <p>生涯学習・文化・スポーツ・教育など（現行基本計画第3章の分野）</p> |
| <p>スポーツ都市としてのアピール。船橋市において、市立船橋などスポーツが盛んなイメージがあるが、高校だけであり、柏や千葉のJリーグに比べると、まだまだ知名度が負けているように感じる。スポーツに力を入れている、企業を誘致を行う。そういった企業に対しては、積極的に優遇措置を与え、船橋で新しい球団をつくろうという気持ちを起こさせたい。</p> |
| <p>活力ある街！船橋市・若者がさらに参加できる祭り、イベントづくり。・若者が誇りに思える街づくり・新転入者が住んで良いと感じる街づくり。</p> |
| <p>義務教育教職員の研修の充実。教員免許更新制度実施を次年度に控え、各教職員個人の資質向上の研修の機会が増える。併せて教職員の学校経営参画意識を高める実践的研修が必要である。</p> |
| <p>市民の学習環境の改善。学習環境を充実させ、学びたい市民をサポートする。またこれをアピールし、自己研鑽や子どもの教育に関心の高い人々に船橋市を生活の本拠として選択してもらえたら…。市民そのものの質的向上により魅力ある自治体にする。具体的には金融教育、図書館の開館時間の延長等。</p> |
| <p>外国人受入れ体制の整備。・市内在住の外国人に対する言葉に関する支援。</p> |
| <p>商工業・観光・農漁業など（現行基本計画第4章の分野）</p> |
| <p>活気あふれる「生き生き」としたくらしのあるまち。将来的に現在ある、船橋市中央卸売市場を用途廃止し、地産地消(農産物・海産物)販売及びPR施設をPFI方式を活用して建設する。併せて、市民文化ホールもあれば良い。理由として道路網及びJR船橋駅にも近いこと。海老川調整地の将来的利用も考えられる。</p> |

| |
|--|
| <p>企業誘致による税収の確保。大企業の誘致があれば、市民の雇用促進、消費の拡大などの経済効果が期待できる。更に事業所税・法人市民税・個人市民税の増収につながる。自立した行政運営が可能となる。</p> |
| <p>中心市街地活性化。都市計画、商工振興など多岐にわたる問題なので、どこの課もなかなか取り組もうとしないと思う。そういった問題に対しては企画調整課が調整して、関係課を集めるなりして、取り組むべきだと思う。</p> |
| <p>都市整備・海の活用・交通体系など（現行基本計画第5章の分野）</p> |
| <p>サステナブルなコンパクトシティの形成。マンションバブルが崩壊し大規模開発が終焉すると、今後は近隣の住民や住環境と共存し、地域資源・自然との共生を目指した、サステナブルなコンパクトシティの造成を民間デベロッパーも目指さざるを得なくなるのではないかと。問10に記載したように、大規模な企業誘致が望めない（やっていない）本市にあっては、市民税の財源に頼らざるを得ず、今後とも若い世代の人口流入を図る必要があると考える。その中で、地域住民との軋轢を生む大規模な高層マンションの建設ではなく、社会基盤、地域資源との共生を目指したサステナブルなまちづくりを民間デベロッパーに促すような施策を研究し、政策形成に結び付けたい。</p> |
| <p>安全で快適な交通体系の整備。国道14号や国道296号の幹線道路整備を早急に行い、居住地区への抜け道等通過車両の乱入を防ぎ人に優しい安全な環境を整える。</p> |
| <p>安全で快適な交通体系の整備。船橋市は近年にわたり集合住宅の増加が見られますが集合住宅周辺の道路の整備はしっかりして安全性はあると思います。しかし、集合住宅地を少し離れると歩道がなく狭隘な道だったり、住宅地が出来たことにより裏道となってしまうていたりして危険性が高い道路が多数みられるので、歩行者が安全で安心な道路づくりも視野にいれてもらいたいです。</p> |
| <p>海を活かした街づくり。三番瀬、船橋港、東京ディズニーランド方面への湾岸にプロムナード等を整備し、海をテーマにした環境教育施設等の建設を行い、海上交通で各施設を巡る事を可能とする。また、船橋港には、宿泊施設と併設したヨットハーバーを整備し、「海の船橋」を創出する。</p> |
| <p>景観の良い街造り。20年程前までは、「船橋」というと混沌とした町並みの印象があったが、船橋駅北口の整備及び京成線の連続立体事業等で南口も整備されてきている。しかしながら、電柱及び電線が多くまだ景観が良いとはいえない。今後電線共同溝を積極的に整備し景観を良くすることでゴミやタバコのポイステができにくいような街にしたい。</p> |
| <p>市民参加・コミュニティ・男女共同参画など（現行基本計画第6章の分野）</p> |
| <p>市民合意（市民協働）のもとに政策需要を抑制していくシステムの構築。今後、自治体財政はさらに深刻のものとなっていくことから、財政健全化のために職員や財源などの行政資源を徹底して吟味するとともに、市民合意（市民協働）のもとに政策需要を抑制し、厳選した政策を質高く実行する政策システムの構築が必要であると思う。特に、今後は、公共財産の維持管理・処分、レジャー施設の見直し、社会教育施設、生涯学習施策の見直</p> |

IV 船橋市のまちづくりにおける課題の整理

し、保育園の民営化等、検討していく必要があると思うが、これらの見直しには市民の理解が不可欠であり、市民合意（市民協働）のもとに政策需要を抑制していくシステムの構築が重要であるとする。

市民参画の手法－プランークスツェレーの導入検討（市民参加を促進する環境整備）。ドイツで発案された無作為抽出市民による市民検討議会－プランークスツェレーを、船橋の新たな市民参画の手法として導入を検討する。

市民とともに作るまちづくり。地域・学校・公民館・企業等、公共施設及び民間企業・大学・高校・専門学校等、町会・自治会、市出張所等の施設職員が一体となり、“まちづくり”の計画立案を実施していく。

行財政・広域連携（現行計画の推進方策にあたる分野）

外部人材の登用。市の施策の企画立案能力が弱いと、都市間競争の時代では立ち遅れることになる。船橋市の歴史的・地域的な特性に応じた「強み」を今後も発揮できる施策の推進と新たな施策の立案能力が求められており、市民に説明する責任もある。船橋市をリードする企画部門の強化が一番の重要な施策と考える。ぜひ外部の人材を登用してシンクタンク機能を発揮できるように企画部門のシステムを変更すべきである。市の職員の企画立案能力の育成開発も必要ではあるがその余裕も待てない現在の状況ではないだろうか。また、各所管課における長期の懸案事項についても外部の人材を登用して施策として立案すべきと考える。

給料を減らさず、経費を減らす。給料を減らされると、モチベーションが下がり、行政もいい方向にいかないと思います。清掃業者の数や回数を減らして、職員ができるところは、職員全員で朝の5分でもやったら経費の削減ができるのではないかと思います。職員全員に給料を減らさないために経費のどこを減らせるか意見を聞いたら、色々な案が出てくると思います。

現在、私の所属を含め、常に問題意識を持って仕事の取り組んでいる職員が何割いるだろうか。社会は常に変化しているが、その変化に対応あるいは、その前の準備している職員がどのくらいいるのだろうか。現在、船橋市は財政面が大きな課題となっており、その対応策の一つとして、職員の削減や各種事業の縮小などを行っているところであるが一番大切なことは、多くの職員に問題意識や仕事への意欲をもたせることで効率化・省力化が図れるのではないだろうか。私は、先日、約一ヶ月半の研修に参加させていただきましたが、多くの課題を発見するとともに、今後、それを解決していく意欲を得ることができました。そして、研修等による「人作り」が非常に重要であることを再認識しました。今後は、研修を抜本的に見直しをして「知識」よりも「意識」を変えられる研修を多く取り入れるべきと考えます。

現代のような変動要素の多い時代には、行政目標マネジメントシステムと行政効果評価システムにより、効率的、効果的及び経済性を考慮した市民のための行政を行う必要があるのではと思います。そのために、行政目標を数値化し、PLAN・DO・CHECK・ACTIONを行い、

IV 船橋市のまちづくりにおける課題の整理

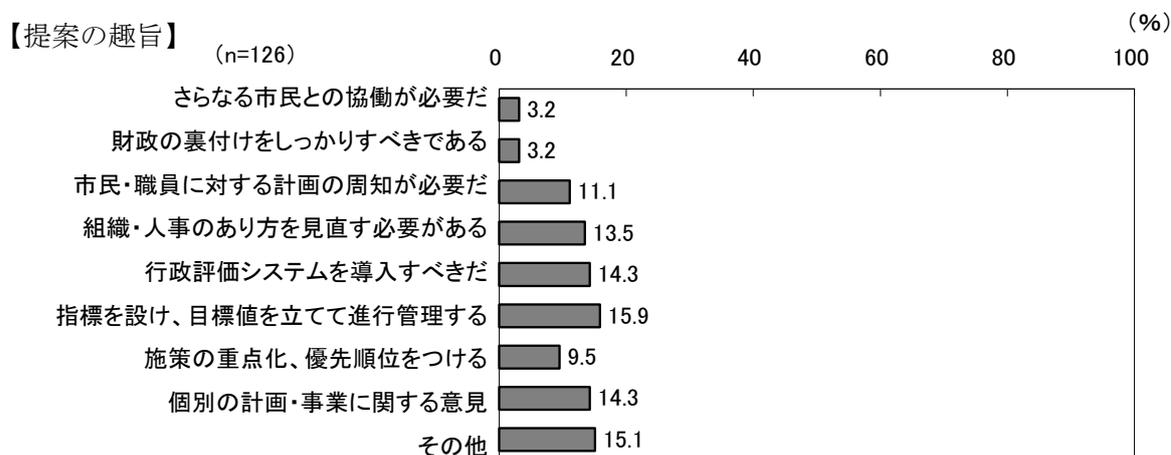
その行政効果を評価し、翌年以降のスパイラルアップを目指し、ぎょうせいサービスのより一層の向上を目指すことが重要であると思います。

公共施設の再整備。公共施設が今後老朽化により建て替えが予想される。建物の耐震化やユニバーサルデザインなどを意識した施設へと改築されることであるが、今後予想される施策を十分に織り込んだ全体の再整備計画が必要と思われる。その際、現施設よりも必要度が高い施設へと変更もありうる。

IV 船橋市のまちづくりにおける課題の整理

【問12】新たな基本計画を実効性ある計画にするための提案

平成23年度に策定する新たな基本計画について、新たな基本計画を実効性ある計画にするためのテーマをあげ、以下の記入欄に具体的に提案して下さい。



本設問は自由記述式であり、126名から提案が寄せられた。

回答を提案の趣旨ごとに整理すると上表のとおりとなり、「指標を設け、目標値を立てて進行管理する」(15.9%)「行政評価システムを導入すべきだ」(14.3%)「組織・人事のあり方を見直す必要がある」(13.5%)が多くなっている。

回答の例を以下に記載する。

【回答の例】

| |
|--|
| さらなる市民との協働が必要だ |
| より多くのパブリックコメントを取り入れる。 |
| 市民と市役所が協力し合ってまちづくりを進める。市の自然環境を守りたいという意識の高い人たちを集め、色々と計画を進め、市民でできるところ、市役所がやるところと分担した上で、できることから進めていく。 |
| 指定管理者制度の促進。民でできるものは民で行う様にする。(図書館、公民館、運動公園等)ただし、市民サービスが低下しない様に民に移行する。 |
| 財政の裏付けをしっかりとすべきである |
| 基本計画策定の際、実行に伴う予算の提示と財源確保を明確にする。 |
| 財源の確保。計画を実効性のあるものにするには、財源の裏付けが絶対に必要で、地方の時代と言って地方に仕事を委譲しながら、それに見合う財源の移譲と権限の委譲が不十分であることは大きな問題である。地方が地方の視点で基本計画をたて実現するためには税源の委譲は必要不可欠である。また、市民の負担の公平性を確保するためには受益者負担はやむをえないところである。 |
| 財源の裏付け。中期財政計画を策定し、財源の見通しを受けたいうえで、計画の策定を行 |

| |
|---|
| <p>う必要がある。</p> |
| <p>市民・職員に対する計画の周知が必要だ</p> |
| <p>基本計画の全庁的な周知徹底。「総合計画を見たことがない」という職員が多いのではないか。実行性ある計画とするためには、職員が計画の存在について認識する必要がある。計画の内容は当然重要ではあるが、その前に総合計画の存在を職員に知らしめることが最初の一步ではないかと考える。</p> |
| <p>市民により周知する・市民の皆様を知っていただく・それにより職員の意識が向上する・多くの市民、職員からアイデアも募れる。</p> |
| <p>市民にわかりやすい総合計画。未来の船橋がイメージできるような、写真・イラスト・図表・目標数値等を多用した、市民にわかりやすい夢のある総合計画の策定をしてほしい。</p> |
| <p>市民の声の吸い上げ基本計画がどのように進んでいるのか、今の基本計画が前のものとのような変化があるなどを市自らがアピールし、市民からの反応をすみやかに受け取れるようなシステム作りが重要なのではないかと考えます。</p> |
| <p>総合計画の周知の徹底。総合計画（基本構想・基本計画）は、船橋市が今後進むべく姿を示したビジョンであるが、そのビジョンを策定しても施策の担い手である職員にとってその存在が身近なものでなければ、総合計画は「絵に描いた餅」になってしまう。今回のこのアンケートの反響がどの程度かは分かりませんが、アンケートの回答率が船橋市職員にとっての基本構想及び基本計画の存在の遠さを物語っているのではないのでしょうか。そこで、基本理念にあるまちづくりの目標である「生き生きとしたふれあいの都市・ふなばし」のような、端的に且つ明確に、基本計画において目指すべくビジョンを表現した目標（キャッチコピー）を各部局において作成し、さらに、「生き生きとしたふれあいの都市・ふなばし」や各部局で定めた目標（キャッチコピー）をイメージしたキャラクターなりロゴマークなりを作成し、名札や名刺、封筒などに印刷することにより、役所の内外に基本計画において目指しているビジョンをアピールすることが必要なのではないかと考えます。また、キャラクター（ロゴマーク）のピンバッジ等を作成し襟なり胸なりに付けてもらえば、職員のモラルの向上にもつながるのではないのでしょうか。目標を見失ってしまっているように見える市職員のやる気を鼓舞するためにも、新しい基本計画の周知の徹底は必要ではないのでしょうか。誠に幼稚な提案で申し訳ありませんが、新たな基本計画を実効性のあるものにするためには、「絵に描いた餅」にならないような施策が必要になるのではないのでしょうか。</p> |
| <p>組織・人事のあり方を見直す必要がある</p> |
| <p>P D C A サイクルに添って、基本計画実現に向けて動くことが出来る組織づくりと、その為の企画部門だけでなく、管理部門の協働（行政評価、事務事業評価、人事評価のリンク等）・計画実現のコア人材は部長部門責任者として組織運営の基盤となり、職員の行動の拠り所になるような仕組み。（毎年の部の目標を市のトップ・部長クラスで決定し、目標及び結果を市民に公表する）</p> |

IV 船橋市のまちづくりにおける課題の整理

ボトムアップ・手作り。担当から作り上げ、現実的な予算計画も行う。

企画部門の強化について。基本計画を実効あるものとするには、市民参加、市民に理解できる（分かりやすい）計画、計画の指標（目標達成）の明確化、事務評価、情報公開、職員の適正な配置、予算との連動性・整合性などといったことを複合的に考える必要があると思うが、特に予算との連動・整合ということが重要であると思う。しかしながら、企画部門と財政部門とのスケール（施策に対する考え方の尺度）の違いにより、一方では必要な施策と判断され、一方では必要ではない施策と判断され、計画と予算が連動・整合しなくなるケースも考えられる。実施計画がその時々予算の論理によって左右され、更にはその実施計画により基本計画はあっても無きが如き状態「空文化」となってはならないと考える。そのためにも、基本計画を実効あるものとするには企画部門と財政部門の連携強化、更には、企画部門の強化（予算、権限、職員の質の向上）が重要な施策の一つであると考ええる。

形式にとらわれない自由提案制度の導入。基本計画を実効性ある計画にするために、職員一人ひとりの今回の調査のような自由提案の場が適時・機会あるごとにできる様な仕組みが必要であると思います。情報、発想は各人の頭の中にありますので、自分から発信または組織からの要望による提案を行うなど、自由に気兼ねなく提案できればと思います。

挑戦し成果を出すための組織・人事制度の改正。・部ごとに政策形成やその成果の達成状況を評価できる体制を作る必要がある。・そのために、現在「部長」にはスタッフがおらず、実行スタッフを持つ課長に頼らざるを得ない現状を変革するため、部の予算、人員、政策の研究・評価、議会対応の取りまとめ等を部長の指示のもと各課と調整するスタッフを配置する。・そのための人材の育成は直ぐには図れないので、一部の部から順次導入する。・年に1回、部単位で政策の達成状況等の確認を行い、評価をする。・部の統廃合を検討する。・課においては、補佐職を廃止し、一定の権限を有する担当課長や室長を設置し権限の明確化を図る。・専門職以外は、スタッフ職・事務取扱を廃止し、権限と給与が見合ったものとする。・班長の任用については、課長の推薦による人事主管課との協議制にするか、部長との協議制にする。・時代の変化に対応し迅速な組織・人事制度の改革を行う必要があることから、人員・組織を主管する行政管理部門と人事を主管する職員課の部門を統合し、権限とスタッフの強化を図る。

行政評価システムを導入すべきだ

市民が理解でき評価基準を市民との協働で構築する。市民誰もが理解できる明確な政策ビジョンを描き出し、政策の策定から実施に至る過程を公開する。この中で課題の洗い出しから改善実施手段等に至るまでの市民の評価を受け入れる。なお、評価結果を踏まえて行政側として、横断的な施策が展開がなされるよう人材の育成とその環境を整えることも重要かと思われます。

外部評価の取り入れ。計画、実施、評価、改善を自己申告に基づいて行うが、それが内部の総合的な評価も必要であるが、外部の人材を活用した表を実施することによって、職

| |
|--|
| <p>員の意識や能力向上は図られ、組織は緊張感が生じ、効果的な運営がされると思われる。外部の空気を取り入れることは、職場にとっても新しい雰囲気づくりにも役立つと思われる。</p> |
| <p>基本計画の内容から各事業レベルまでの落としこみと評価の確実な実施。各担当所属において、基本計画に掲載されている内容が、自分の所属のどの事業に該当するのかを明確に落とし込む作業を実施したうえで、計画に対する各事業の達成目標をアウトプットではなくアウトカム指標で設定することが必要。また、その指標が達成されたか否かの評価を確実に実施するしくみを作り、ある意味強制的に実施させることが必要。計画を実効性あるものにするためには、これらの評価と改善策の実施を繰り返すことが求められると考える。</p> |
| <p>決定された計画の状況（実態の推移、現在どのような状態にあるか）を随時公表していく。</p> |
| <p>施策評価と予算との連動。・基本計画9年後の目標となる指標は、リーディングプランには必要と考える。また、実施計画を3年毎とし、実施計画の施策毎に指標を設定し、毎年評価を実施するし、優先順位を付け予算を連動させる。①リーディングプランの実施計画の施策評価（事業評価）については、市民との協働により実施していく。②リーディングプランに載っていない実施計画の施策評価（事業評価）については、市民との協働により実施するには困難であるため、部局内で評価する。※施策評価は数値のみで判断することなく、優先順位を付けるようにする。</p> |
| <p>指標を設け、目標値を立てて進行管理する</p> |
| <p>各政策別の目標設定及び四半期の確認報告。政策（施策）ごとに計画事業の目標を設定し、その成果を報告。問題点があるならば、短期的に修正する事が必要だ。</p> |
| <p>計画の内容が深く知れ渡る様にわかりやすく指標を掲げてもらいたい。・全職員が基本計画を十分把握し、計画の基本理念を十分理解した上で、各部署において具体的に実行していくことが必要だと思う。</p> |
| <p>策定した基本計画に対してどれだけ成果が上がったかを評価できるよう、具体的な計画（目標）数値を設定することが必要であると思います。</p> |
| <p>事業の工程管理。新規事業に着手する際など、事業計画（事業期間・資金配分計画等）を設定する場合において、現実的に達成可能かどうかよく検討し、決定されたうちは目標の事業期間内の事業完了を厳守すること。</p> |
| <p>目標値の設定本来は、事業主体が本市であり、実施時期や予算的裏付けがある程度、明確となっている施策のみを列記するべきであると考え。いくら基本理念としてはすばらしく、市として目指すべき方向であったとしても、いつまでも実施計画として上がってこないような基本計画の施策は、実効性があるとはいえず、問題があるのではないのでしょうか。例えば、「15 海を活かした魅力あるまちづくり」は、当時としては先進的で、多様な主体により策定された計画であったかもしれないが、いつまでに、いくら予算で行うの</p> |

IV 船橋市のまちづくりにおける課題の整理

かなどが不明な施策が多く、「理念としては素晴らしいのにね」となってしまうている。国や民間事業者が主体となっている事業が大半を占めていることも、問題である。基本計画の中に、目標年次までの目標値（必要があれば中間地点である5年目の目標値も）を記載し、全く達成されていないものについては、原因究明に努めるとともに、次回の基本計画策定の際には、抜本的な見直しを図るべきではないか。ただし、この「海を活かした魅力あるまちづくり」のように、基本構想として策定されていると、基本計画から削除するというわけにはいかないであろうが…

施策の重点化、優先順位をつける

基本計画内のプライオリティの設定。全般にわたる計画が必要であることは理解しているが、社会情勢は刻々と変化し、策定した計画が意味を持たない場合があると思われる。そこで、基本計画の中でも、優先順位または重要度を掲げて、策定する必要があるのではないかと思う。経済情勢によって、財源不足が生じた場合、財政担当の判断にゆだねるところが大きくなり、その成果に多くの満足が得られるかどうか不明である。であれば、最初から優先度等を設定し、その法則に従って、施策を推進する方が効率的であり、不完全ながら満足度も大きいと思われる。

施策の重点化。厳しい財政状況が続く中、今後、益々社会保障関連経費等の増が見込まれている。そのような中、基本計画の策定にあたっては、「あれもこれも」のような総花的な計画ではなく、施策に優先順位をつけ、着実な実施に結び付けていく必要がある。また、施策に優先度をつけると同時に、代わりに何をやめるのか、事業の廃止・縮小に向けた計画も必要である。

全体を網羅する部分としての分野別計画と重点部分の明確化。現状では6分野に対し重点が11もある。これの絞り込み。施策名称も事務事業名を並べるのではなく目的を記入。指標については実施計画レベルで策定する。

(3) 調査結果からみた基本計画策定に向けての課題

①活用され機能する総合計画の策定に向けた取り組みの必要性

- ・【問1】総合計画の活用状況をみると、「業務であり活用しておらず、ほとんど読んだことがない。」が著しく多く、62.9%に達している。これは同様の趣旨で調査を実施した群馬県伊勢崎市（「ほとんど読んだことがない」54.5%）、埼玉県深谷市（「ほとんど読んだことがない」と「あることを知らない」の合計が40.0%）と比較しても多く、活用状況に問題があると思われる。
- ・総合計画（基本構想・基本計画）は、行政経営の基本的指針となるべき計画であることから、活用され、機能する計画であることが望ましい。そのためには、「業務であり活用しておらず、ほとんど読んだことがない。」割合が相対的に高かった若手職員（主として39歳以下）をターゲットとして計画策定過程への参画の場を設け、計画のオーナーシップを高めることが有効と考えられる。
- ・参画の場としては、自由な発想を旨とするワークショップによる施策の立案や、策定体制に位置づけられたワーキング・グループによるリーディング・プランの原案づくりなどが考えられる。

②わかりやすく理解しやすい「船橋市の方向性」の明確化

- ・【問2】現在の船橋市のイメージ、【問2-1】これから高めたい船橋市のイメージをみると、現在のイメージ（活気ある都市）を伸ばしつつ、快適な環境の都市というイメージを高めたいという傾向がみてとれる。
- ・「船橋市のイメージ」といった抽象的な概念を問う設問であることから、日常業務を通じた思い入れはあるにせよ、職員と市民では傾向に大きな差はないものと推察される。わかりやすい表現で「船橋市の方向性」を明確に示すことは、船橋市という都市の性格や、今後重点的に取り組んでいく政策・施策を示すことであり、計画策定を通じ、目的指向の行政経営の実現に向けてアプローチすることにつながると考えられる。

③重点的に取り組むべき施策の明確化

- ・現行基本計画における取り組みに対する【問3】満足度、【問4】重要度の相関関係をみると、満足度が低く・重要度が高いグループとして、「16 安全で快適な交通体系の整備(-0.57・1.58)」（括弧内はそれぞれ重要度・満足度の評価点）「5 環境負荷の少ない資源循環社会の構築(-0.10・1.43)」「22 効率的で市民に分かりやすい行財政運営(-0.09・1.40)」「17 魅力ある市街地の整備(-0.30・1.34)」「4 自然と共生した安らぎのある都市環境の創造(-0.04・1.28)」「14 船橋らしさを活かした都市づくり(-0.01・1.27)」があげられている。
- ・これらの取り組みは、職員からは力を注いでいく必要性が高いと評価されているわけ

IV 船橋市のまちづくりにおける課題の整理

であるが、今後、市民意識調査などを実施して市民の評価とすり合わせながら、重点的に取り組むべき施策の明確化を図っていくことが有効と考えられる。

④船橋市の「強み」の活用と「弱み」への対応

- ・【問5】船橋市の「強み」、【問6】船橋市の「弱み」では、記述式設問であったことからさまざまな意見が寄せられたが、概ね、鉄道網の発達による交通利便性の高さが船橋市の強みであり、一方、道路交通網のせい弱さが船橋市の弱みであるという結果となった。
- ・今後の基本計画策定作業にあっては、これらの「強み」をどう活かし、「弱み」をどう克服していくかに関する、全市的視点からの検討が必要である。この際、今回のアンケートで寄せられた回答を材料としてSWOT分析などを実施し、船橋市が有するさまざまな要素について、整理しておくことが大切と思われる。

⑤協働のまちづくりへのアプローチ

- ・船橋市では平成20年3月に「市民協働の指針」を策定し、市民と行政との協働によるまちづくりを推進しているところであるが、【問7】協働のまちづくりのために必要なことでは、「役割分担をはっきりさせること」が最も多くなっている。
- ・船橋市には、いわゆる「船橋都民」が相当数おり、地域に対する愛着や関心が希薄化しがちであったり、行政に対するニーズが多様化する傾向にあるものと思われる。他方、NPO等の市民活動や、テーマコミュニティによる活動もみられる反面で、既往の自治会等を基礎的な単位とした地域活動も地域差はあるものの根付いているという土壌もある。
- ・このような船橋市ならではの状況の中で、協働によるまちづくりを推進していくためには、単にマニュアル等により役割分担を明確化するのみならず、多様な手法により協働のまちづくりに向けてアプローチしていくことが重要と思われる。
- ・行政経営の基本指針である総合計画（基本計画）の策定は、市民に対して新しい協働の手法をPRしていく機会でもあることから、市民性を担保する手法としてのプラヌクスツェレの開催なども考えられる。

⑥単なる整理統合でない目的指向型の行財政改革の推進

- ・【問9】これからの行財政改革をみると、「事業の重点化や、事業の整理・統合を進める。」「民間にできることは、市民や民間事業者に任せるようにする。」と並び、「企画立案能力や実行力など、意欲と能力ある職員を育てる。」が多くなっており、人材育成によって市職員の、ひいては市役所の能力を高めることが求められている。
- ・単なる整理統合、切り捨て型の行財政改革は、職員のモチベーション低下等につながるということが一般的に指摘されていることや、キーパーソンヒアリングにおいて、市民の

ニーズにマッチした施策展開とそれを可能にする職員能力養成の必要性が指摘されていることから、単なる整理統合でない目的指向型（この場合は企画立案能力や実行力など、意欲と能力ある職員を育てることによって、多様な市民ニーズに的確に応えられる市役所をめざす）の行財政改革の推進が求められると考えられる。

⑦人口増加の抑制による良好な都市環境の確保

- ・良好な居住環境の確保に向け、平成21年2月に船橋市はマンションの高さなどを制限する「都市計画高度地区」の変更を告示したところであるが、【問10 これからの人口政策】においても、人口増加のスピードを抑えるべきとする意見が多くなっている。
- ・これは、かつて人口が急増した時代に居住環境の悪化を経験したことや、近年の高層住宅建設による都市環境の変化（商業地における住居系土地利用の増加や市街化調整区域における住宅地のにじみ出し等）を踏まえた意見と推察され、今後、良好な都市環境を確保していくためにも、人口増加の抑制が望まれている。
- ・ただしこの点については、市民意識調査等の実施によって、市民意見とのすり合わせを図っておく必要がある。

IV 船橋市のまちづくりにおける課題の整理

参考資料：職員アンケート調査票

総合計画：次期基本計画策定のための 職員意識調査

総合計画（基本構想・基本計画）は市政の最も基本となる計画であり、本市の場合、基本構想は平成32（2020）年度、基本計画は平成23（2011）年度を目標年次としています。

今後、次期基本計画の策定に着手していきませんが、先行き不透明な社会経済情勢の中、本市が進むべき方向性を的確に捉えた、実効性ある計画づくりが求められると考えます。

この職員意識調査は、策定作業の一環として、計画づくりの基礎資料を得るために行うものですので、調査の趣旨をご理解のうえ、ご協力いただきますようお願いいたします。

平成20年10月 企画調整課長

1. 調査対象 8級以下の常勤職員
2. 実施期間 平成20年10月10日（金）から10月31日（金）まで
3. 実施方法 庁内LANを利用した配布・回収。

※エクセルファイルによる提出を原則といたしますが、庁内LAN接続パソコンが整備されていない部署にも恐れ入りますが、配布していただきますようお願いいたします。その場合は、調査用紙（紙ベース）による提出でも結構ですが、なるべく所属毎にとりまとめるのうえ、提出してください。

【エクセルファイルによる提出方法】

- ①ファイル名を職員番号(半角で6桁)に変更する。
- ②庁内LAN接続パソコンから、ファイルサーバ→1c_企画部→企画調整課→提出用→職員意識調査と順次フォルダを開き、その中にファイルをコピーする。

【記入上の注意点など】

1 記入にあたっては、現在の所属や職務内容にとらわれず、船橋市職員として広い視野で回答してください。

2 エクセルファイルをマクロ処理して集計しますので、調査票の所定の位置（網掛け部分）に回答をご記入下さい。（※この際、セルの結合・追加などにより、セル構造を変えないようお願いいたします。）

3 選択式回答の場合は、半角数字を記入して下さい。記述式回答については特に定めを設けませんが、できるだけ回答欄に収まるよう、お答え下さい。

4 調査結果は統計的に処理し、他の目的に使用することはありません。

【問い合わせ及び提出先】

企画調整課 計画班

電話：047-436-2057

基本属性

職員番号(半角で6桁)

※氏名

※差し支えなければ氏名もご記入ください

最初に、あなたご自身のことについてお聞きします。
以下について、あてはまる番号を1つ選び、記入欄にご記入ください。

| | | |
|---------|----------|-----------|
| (1)性別 | 1 男性 | 2 女性 |
| (2)年齢 | 1 18～29歳 | 3 40～49歳 |
| | 2 30～39歳 | 4 50歳以上 |
| (3)職務の級 | 1 1級 | 5 5級 |
| | 2 2級 | 6 6級 |
| | 3 3級 | 7 7級 |
| | 4 4級 | 8 8級 |
| (4)職種 | 1 一般事務 | 5 保育士・栄養士 |
| | 2 技術職 | 6 消防職 |
| | 3 教育職 | 7 技能・技労員 |
| | 4 医療職 | |

記入欄

⇒

⇒

⇒

⇒

1 総合計画について

【問1】総合計画の活用状況

あなたは、総合計画をどのように活用してきましたか？
以下について、あてはまる番号を1つ選び、記入欄にご記入ください。

| |
|----------------------------------|
| 1 業務でよく活用しており、読み返したりすることが多い。 |
| 2 業務でまあ活用しており、たまには読み返したりすることがある。 |
| 3 業務であまり活用しておらず、ほとんど読んだことがない。 |
| 4 その他 |

記入欄

⇒

「その他」記入欄

2 船橋市のイメージについて

【問2】現在の船橋市のイメージ

あなたにとって、現在の船橋市はどのようなイメージですか？
 次の①～⑦の対照的なイメージについて、左右のどちらに近いが、4～1のうちあてはまる番号を1つ選び、記入欄にご記入ください。

| | | 左の イメージ | やや左の イメージ | やや右の イメージ | 右の イメージ | | 記入欄 |
|---|--------|------------|--------------|--------------|------------|--------|-----|
| ① | 成長している | 4 | 3 | 2 | 1 | 衰退している | |
| ② | 活気ある | 4 | 3 | 2 | 1 | さびれた | |
| ③ | 快適な環境の | 4 | 3 | 2 | 1 | 不快な環境の | |
| ④ | 落ち着いた | 4 | 3 | 2 | 1 | 慌ただしい | |
| ⑤ | 文化的な | 4 | 3 | 2 | 1 | 文化のない | |
| ⑥ | 温かみのある | 4 | 3 | 2 | 1 | 冷たい | |
| ⑦ | 明るい | 4 | 3 | 2 | 1 | 暗い | |

【問2-1】これから高めたい船橋市のイメージ

あなたにとって、今後高めたい船橋市のイメージは、どのようなイメージですか？
 次の中から、あてはまる番号を2つまで選び、記入欄にご記入ください。

- 1 発展的、先進的など「成長のイメージ」
- 2 活気ある、にぎやかなど「活力あるイメージ」
- 3 自然豊か、うるおいのあるなど「快適な環境のイメージ」
- 4 落ち着き、ゆとりなど「成熟のイメージ」
- 5 美しい、文化的など「文化性の高いイメージ」
- 6 あたたかい、親しみなど「人間性を大切にするイメージ」
- 7 華やか、開放的など「明るいイメージ」

記入欄

⇒

| |
|--|
| |
| |

3 市の取り組みに対する満足度と、これからの重要度について

【問3】満足度

現在、船橋市では、総合計画に位置づけられた23の柱に沿って、施策を推進しています。あなたは、船橋市の次のような取り組みについて、現状でどの程度満足していますか？次の1から23までの各項目につき、5段階で評価し記入欄に番号をご記入ください。なお、具体的な施策は、「船橋市総合計画」冊子またはホームページをご覧ください。

| | 満足 | やや満足 | やや不満 | 不満 | わからない | 記入欄 |
|--|----|------|------|----|-------|-----|
| (記入例)1 生涯にわたる健康づくりの推進 保健・医療・福祉の連携による総合的な施策の推進など | 4 | 3 | 2 | 1 | 0 | ⇒ 3 |
| 1 生涯にわたる健康づくりの推進 保健・医療・福祉の連携による総合的な施策の推進など | 4 | 3 | 2 | 1 | 0 | ⇒ |
| 2 心のかよった社会福祉の推進 児童福祉・障害者福祉・高齢者福祉の充実など | 4 | 3 | 2 | 1 | 0 | ⇒ |
| 3 安心した生活を支える社会保障の充実 介護保険・国民健康保険・国民年金事業の推進、低所得者福祉の充実など | 4 | 3 | 2 | 1 | 0 | ⇒ |
| 4 自然と共生した安らぎのある都市環境の創造 自然との共生・水辺の整備・みどりの保全と創出など | 4 | 3 | 2 | 1 | 0 | ⇒ |
| 5 環境負荷の少ない資源循環社会の構築 環境負荷の少ない社会づくり、リサイクル、環境美化など | 4 | 3 | 2 | 1 | 0 | ⇒ |
| 6 安全・安心な暮らしを支える生活環境づくり 防災・防犯、消防・救急体制の充実、生活衛生の整備など | 4 | 3 | 2 | 1 | 0 | ⇒ |
| 7 潤いと生きがいに満ちた生涯学習社会の構築 総合的な生涯学習の推進、学習機会と学習環境の整備など | 4 | 3 | 2 | 1 | 0 | ⇒ |
| 8 文化、スポーツ・レクリエーションのまちづくり 市民文化の創造、スポーツ・レクリエーションの振興など | 4 | 3 | 2 | 1 | 0 | ⇒ |
| 9 心豊かにたくましく生きる子どもの育成 家庭・幼児・学校教育の充実、青少年健全育成など | 4 | 3 | 2 | 1 | 0 | ⇒ |
| 10 市民主体の国際交流の推進と世界平和 市民主体の国際交流、外国人との共生社会の実現など | 4 | 3 | 2 | 1 | 0 | ⇒ |
| 11 活力ある商業・工業・観光の振興 海を活かしたまちづくり、商業・工業、観光の振興、雇用環境の充実など | 4 | 3 | 2 | 1 | 0 | ⇒ |
| 12 魅力ある農業・漁業の振興 活力あふれる都市農業、時代に対応した漁業の振興など | 4 | 3 | 2 | 1 | 0 | ⇒ |
| 13 安心できる消費生活の確立 自立する消費者の育成、消費者の保護など | 4 | 3 | 2 | 1 | 0 | ⇒ |
| 14 船橋らしさを活かした都市づくり 安全・快適な都市環境の創造、市民参加のシステムづくりなど | 4 | 3 | 2 | 1 | 0 | ⇒ |
| 15 海を活かした魅力あるまちづくり 親しみと憩いのある海辺と、たのしい川辺の整備など | 4 | 3 | 2 | 1 | 0 | ⇒ |
| 16 安全で快適な交通体系の整備 人優先のみちづくり、まちが躍動する都市交通の確立など | 4 | 3 | 2 | 1 | 0 | ⇒ |
| 17 魅力ある市街地の整備 主な駅前周辺地区の整備、計画的な新たなまちづくりなど | 4 | 3 | 2 | 1 | 0 | ⇒ |
| 18 市民とともにつくるまちづくり 市民と行政とのパートナーシップによるまちづくりの推進など | 4 | 3 | 2 | 1 | 0 | ⇒ |
| 19 ふれあいに満ちたコミュニティの育成 コミュニティ活動の促進、コミュニティ活動拠点の整備など | 4 | 3 | 2 | 1 | 0 | ⇒ |
| 20 男女共同参画社会の形成 男女平等意識の醸成、推進体制の整備など | 4 | 3 | 2 | 1 | 0 | ⇒ |
| 21 高度情報社会の構築 高度情報化推進体制、情報システム等の整備など | 4 | 3 | 2 | 1 | 0 | ⇒ |
| 22 効率的で市民に分かりやすい行財政運営 地方自治の確立、効率的な行政運営、健全な財政運営など | 4 | 3 | 2 | 1 | 0 | ⇒ |
| 23 広域的な連携 関係自治体および国・県との連携の強化 など | 4 | 3 | 2 | 1 | 0 | ⇒ |

IV 船橋市のまちづくりにおける課題の整理

【問4】重要度

また、あなたは、次のような取り組みについて、これからどの程度重要だと考えますか？
 次の1から23までの各項目につき、5段階で評価し記入欄に番号をご記入ください。
 なお、具体的な施策は、「船橋市総合計画」冊子またはホームページをご覧ください。

| | 重要 | やや重要 | あまり重要でない | 重要でない | わからない | 記入欄 |
|--|----|------|----------|-------|-------|-----|
| (記入例) 1 生涯にわたる健康づくりの推進 保健・医療・福祉の連携による総合的な施策の推進など | 4 | 3 | 2 | 1 | 0 | ⇒ 4 |
| 1 生涯にわたる健康づくりの推進 保健・医療・福祉の連携による総合的な施策の推進など | 4 | 3 | 2 | 1 | 0 | ⇒ |
| 2 心のかよった社会福祉の推進 児童福祉・障害者福祉・高齢者福祉の充実など | 4 | 3 | 2 | 1 | 0 | ⇒ |
| 3 安心した生活を支える社会保障の充実 介護保険・国民健康保険・国民年金事業の推進、低所得者福祉の充実など | 4 | 3 | 2 | 1 | 0 | ⇒ |
| 4 自然と共生した安らぎのある都市環境の創造 自然との共生・水辺の整備・みどりの保全と創出など | 4 | 3 | 2 | 1 | 0 | ⇒ |
| 5 環境負荷の少ない資源循環社会の構築 環境負荷の少ない社会づくり、リサイクル、環境美化など | 4 | 3 | 2 | 1 | 0 | ⇒ |
| 6 安全・安心な暮らしを支える生活環境づくり 防災・防犯、消防・救急体制の充実、生活衛生の整備など | 4 | 3 | 2 | 1 | 0 | ⇒ |
| 7 潤いと生きがいに満ちた生涯学習社会の構築 総合的な生涯学習の推進、学習機会と学習環境の整備など | 4 | 3 | 2 | 1 | 0 | ⇒ |
| 8 文化、スポーツ・レクリエーションのまちづくり 市民文化の創造、スポーツ・レクリエーションの振興など | 4 | 3 | 2 | 1 | 0 | ⇒ |
| 9 心豊かにたくましく生きる子どもの育成 家庭・幼児・学校教育の充実、青少年健全育成など | 4 | 3 | 2 | 1 | 0 | ⇒ |
| 10 市民主体の国際交流の推進と世界平和 市民主体の国際交流、外国人との共生社会の実現など | 4 | 3 | 2 | 1 | 0 | ⇒ |
| 11 活力ある商業・工業・観光の振興 海を活かしたまちづくり、商業・工業、観光の振興、雇用環境の充実など | 4 | 3 | 2 | 1 | 0 | ⇒ |
| 12 魅力ある農業・漁業の振興 活力あふれる都市農業、時代に対応した漁業の振興など | 4 | 3 | 2 | 1 | 0 | ⇒ |
| 13 安心できる消費生活の確立 自立する消費者の育成、消費者の保護など | 4 | 3 | 2 | 1 | 0 | ⇒ |
| 14 船橋らしさを活かした都市づくり 安全・快適な都市環境の創造、市民参加のシステムづくりなど | 4 | 3 | 2 | 1 | 0 | ⇒ |
| 15 海を活かした魅力あるまちづくり 親しみと憩いのある海辺と、たのしい川辺の整備など | 4 | 3 | 2 | 1 | 0 | ⇒ |
| 16 安全で快適な交通体系の整備 人優先のみちづくり、まちが躍動する都市交通の確立など | 4 | 3 | 2 | 1 | 0 | ⇒ |
| 17 魅力ある市街地の整備 主な駅前周辺地区の整備、計画的な新たなまちづくりなど | 4 | 3 | 2 | 1 | 0 | ⇒ |
| 18 市民とともにつくるまちづくり 市民と行政とのパートナーシップによるまちづくりの推進など | 4 | 3 | 2 | 1 | 0 | ⇒ |
| 19 ふれあいに満ちたコミュニティの育成 コミュニティ活動の促進、コミュニティ活動拠点の整備など | 4 | 3 | 2 | 1 | 0 | ⇒ |
| 20 男女共同参画社会の形成 男女平等意識の醸成、推進体制の整備など | 4 | 3 | 2 | 1 | 0 | ⇒ |
| 21 高度情報社会の構築 高度情報化推進体制、情報システム等の整備など | 4 | 3 | 2 | 1 | 0 | ⇒ |
| 22 効率的で市民に分かりやすい行財政運営 地方自治の確立、効率的な行政運営、健全な財政運営など | 4 | 3 | 2 | 1 | 0 | ⇒ |
| 23 広域的な連携 関係自治体および国・県との連携の強化 など | 4 | 3 | 2 | 1 | 0 | ⇒ |

4 船橋市の強みと弱みについて

【問5】船橋市の強み

あなたは、他の都市と比較して「船橋市の方が進んでいる・優れている・可能性が高い」ことは何だと思えますか？

思いあたることを、下記の記入欄にお書きください。

記入例

〇〇市と比較して、JR総武線・京葉線、東武鉄道・京成電鉄、東京メトロ等により都心からの交通利便性が高く、また、比較的安価に住宅が入手できることから、居住の場としての魅力に富んでいる。

記入欄

【問6】船橋市の弱み

あなたは、他の都市と比較して「船橋市の方が遅れている・劣っている・可能性が低い」ことは何だと思えますか？

思いあたることを、下記の記入欄にお書きください。

記入例

〇〇市と同様に、街道沿道を中心として発展した交通結節点という都市構造を持つが、南北方向の動線となる幹線道路が少なく、慢性的な渋滞が発生しているなど、市内の道路交通面で弱みがある。

記入欄

5 協働のまちづくりについて

【問7】協働のまちづくりのために必要なこと

船橋市では平成20年3月に「市民協働の指針」を作成し、この「協働のまちづくり」を進めようとしています。

あなたは、「協働のまちづくり」を進めるために、どのようなことが必要だと思いますか？次の中から、あてはまる番号を2つまで選び、記入欄にご記入ください。

| | | 記入欄 |
|----------|---|-----|
| 1 | 市民に積極的に呼びかけながら、参加の機運を高める。 | |
| 2 | まちづくりの情報を、広報やホームページなどでわかりやすく伝える。 | |
| 3 | 市民がすべきこと、行政がすべきこと、協力すべきことの役割分担をはっきりさせる。 | |
| 4 | 時間や場所、応募方法など、さまざまな人々が参画しやすい環境を整える。 | |
| 5 | 市の計画や事業に対し、市民が提案できるしくみをつくる。 | |
| 6 | 地域活動団体などの今ある組織を最大限生かす。 | |
| 7 | さまざまな人が参加する市民会議など、新しい参加の方法を取り入れる。 | |
| 8 | その他 | |
| 「その他」記入欄 | | |

【問8】これから協働を進めるべき分野

あなたは、今後、特に協働を進めていくべき分野は何だと思いますか？次の中から、あてはまる番号を2つまで選び、記入欄にご記入ください。

| | | 記入欄 |
|----------|------------------------------------|-----|
| 1 | 生涯にわたる健康づくりや、心のかよった社会福祉の分野 | |
| 2 | 自然との共生、資源循環型社会の構築、安全・安心な生活環境の分野 | |
| 3 | 心豊かな子どもの育成、生涯学習、文化・スポーツの分野 | |
| 4 | 魅力と活気ある産業の振興や、安心できる消費生活の分野 | |
| 5 | 船橋らしさを活かした都市づくり、魅力ある市街地、交通体系の整備の分野 | |
| 6 | コミュニティの育成、男女共同参画社会、高度情報社会の分野 | |
| 7 | 効率的で市民に分かりやすい行財政運営、広域的な連携の分野 | |
| 8 | その他 | |
| 「その他」記入欄 | | |

6 これからの方向性について

【問9】 これからの行財政改革

社会経済の変容が進むなか、船橋市にもさまざまな改革が求められています。あなたは、市役所の行財政改革として、どのようなことが重要だと思いますか？次の中から、あてはまる番号を3つまで選び、記入欄にご記入ください。

| | 記入欄 |
|---|-----|
| 1 企画立案能力や実行力などに優れた、意欲と能力ある職員を育てる。 | |
| 2 職員の数や給与を見直し、スリム化する。 | |
| 3 事業の重点化や、事業の整理・統合を進める。 | |
| 4 今ある公共施設の統廃合を進める。 | |
| 5 市役所の組織を整理、統合する。 | |
| 6 市民と市役所が協力し合って、まちづくりを進めるようにする。 | |
| 7 行政評価システムを活用して、市役所の仕事を評価し、見直す。 | |
| 8 民間にできることは、市民や民間事業者に任せるようにする。 | |
| 9 使用料・手数料などの受益者負担の見直しにより、市の自主的な財源を確保する。 | |
| 10 住民全体の負担増により、行政サービスの充実を図る。 | |
| 11 情報公開を積極的に推進し、行政の透明性の向上を図る。 | |
| 12 経費の節減・合理化をし、支出を抑える。 | |
| 13 その他 | |
| 「その他」記入欄 | |

【問10】 これからの人口政策

近年の人口移動の傾向を反映させるため、将来人口・世帯数推計の見直しを実施しました（HPに掲載）が、今後の船橋市の人口政策について、あなたはどう思いますか？次の中から、あてはまる番号を1つ選び、記入欄にご記入ください。

| | 記入欄 |
|--------------------|-----|
| 1 人口の増加を促進すべき。 | |
| 2 人口増加のスピードを緩めるべき。 | |
| 3 これ以上の人口の増加は必要ない。 | |
| 4 その他 | |
| 「その他」記入欄 | |

自由提案1

【問11】 これからの船橋市の取り組みに関する提案

これからの船橋市の取り組みについて、あなたが関心のあるテーマを1つあげ、以下の記入欄に具体的に提案して下さい。

| テーマ | |
|-----|--|
| | |

自由提案2

【問12】新たな基本計画を実効性ある計画にするための提案

平成23年度に策定する新たな基本計画について、新たな基本計画を実効性ある計画にするためのテーマをあげ、以下の記入欄に具体的に提案して下さい。

| テーマ | |
|--|--|
| (記入例) テーマ: 成果指標の設定 提案例: 政策(施策)ごとに計画事業の成果をわかりやすく示す指標を掲げることが必要だ。 | |

アンケートは以上です。ご協力ありがとうございました。